

marie claire

marieclairejapon.com

27th August, 2026
No.212

Haruka
Ayase

New Sensibility

新しい美意識がここに

秋を先取る
HOT LOOKS

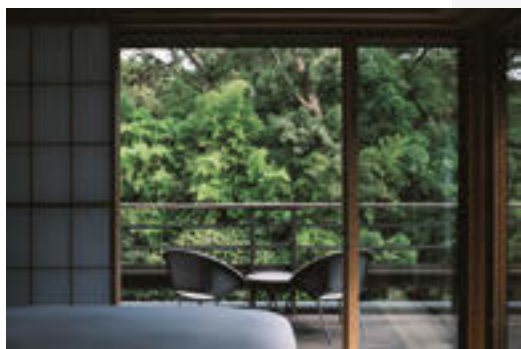
癒やしのスリープ リトリート
素敵空間のバーへ



本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。

Contents

牡牛座taurus 4月20日→5月20日★9月は好きに没頭できる時間がツキを呼ぶ。安定や慎重さは封印し、大胆にアクションを取っていくことが秘訣。喜びや自己表現を通してあなたの豊かな感性や魅力がキラキラ輝く流れ。



5 Welcome to marie claire /
6 Cover Story: Haruka Ayase /
8 2026/27 Fall &
Winter Trend Report /
10 The New Codes /
16 Style Picks: Suede Chic /
17 Style Picks: Autumn Glow /
18 MICHAEL KORS /
20 Alhambra New Chapter /
24 Christofle /
25 Art: Dior /
26 Beauty: Cloud Skin Trend /
27 SUQQU /
28 Hankyu Beauty /
30 marie claire digital /
32 Bar /
34 Food: KUROMORI /
35 PARMIGIANO REGGIANO /
36 Retreat /
42 marie claire open golf
in Aichi 2026 /
43 TAG HEUER, shop list

cover
photo: Yoshiyuki Nagatomo
styling: Megumi Yoshida
hair: ASASHI<ota office>
make-up: Asami Taguchi<Home Agency>
direction: Shino Sakurai
dress, skirt, ring: BOTTEGA VENETA

Welcome to marie claire vol.212

香

港を拠点とするコンテンポラリーアート・ハブ「Serakai Studio」が東京・表参道で開催中のグループ展『CERTAINLY TOKYO』を興味深く鑑賞しました(marie claire digitalでは、キュレーターのインタビューなども掲載していますのでぜひご覧ください)。本展は、香港をはじめ、韓国、ニュージーランド、スペインなど世界各国9組のアーティストの作品からなるもので、日本からは大竹伸朗が参加しています。テーマは、「不確かさ」。さまざまな作品を通して、アート、ひいては人間の営みの、揺らぎや逸脱という不確実性がもたらす豊かさや創造、在り方を問うています。

今号でご紹介している、アルル国際写真展のプログラム「ディオール ヤング フォトグラフィー & ビジュアルアーツ アワード」で最優秀賞を受賞した武信朱璃さんの作品にも共通点があるように思います。彼女のアートの視点は、目に見えない不確かなもののなかに、自分であって自分ではない存在を見つけること。禅問答のようではありますが、本来、自分自身とは確かな存在であるようで、自分でも分かっていないことの方が多いものです。自分の体とその外側の境界線ですら、分子レベルで見ればあいまいで、常にうごめき入れ替わり、在るのか無いのか、まさに不確か。

自分とは人間とは何なのかを問いかける豊かな時間が生まれたり、視点が一つ増える感覚を得られたりすることは、アートに触れる醍醐味の一つ。デジタル化する現代は、不確実性や無駄を排除し、素早く正確に物事をコントロールする力が求められる面も多くありますが、これからの時代においては「不確かなこと」が一つの価値になるのではないかと感じました。

最新のランウェイや次号でご紹介するオートクチュールのコレクションも、改めて手仕事の価値がフォーカスされています。一つとして同じものがない、手の感覚や技が生み出す「揺らぎ」や「思いがけない逸脱」が形作る美しいクリエイションは、人間らしさの象徴ともいえるでしょう。「不確かなこと」こそが人間だけの聖域、つまりはラグジュアリーになっていくのかもしれません。

2026年8月27日



阿部はるひ
Haruhi Abe, marie claire 編集長

marie claire

2026年8月27日発行 第15巻 第8号(通巻212号)

発行人 Publisher:
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
阿部はるひ Haruhi Abe

Executive Advisor, Global Affairs:
田居克人 Katsuto Tai

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

ビジネス スペシャリスト Business Specialist:
斉賀明宏 Akihiro Saiga

副編集長 Deputy editor:
大林理子 Riko Obayashi

編集部 Editorial Team:
高波麻奈美 Manami Takanami
岩崎芽衣 Mei Iwasaki

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:
読売新聞東京本社
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-3216-8815
THE YOMIURI SHIMBUN

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO.,LTD.

本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。
※本紙に掲載されている商品の価格は
特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive Director:
Jean de Boisdeffre
International Deputy &
Finance Director:
Felix Droissart
International Brand Director:
Nicia Rodwell
Chief Content Officer:
Galia Loupan
Chief Digital Officer:
David Jullien

International Fashion &
Beauty Chief Editor:
Florence Deladrière
Senior International Brand Manager:
Céline Hananel
International Editorial Coordinator:
Marie Bazin
Global Partnerships / Media solutions:
Magali Riboud
(Agence Riboud)

Foreign right Commercial:
Thibaud le Paih
Licensing Manager:
Stephanie Ertzbischoff
Iconographer, Photo library:
Isabelle Teboul

©MARIE CLAIRE ALBUM 2026
©THE YOMIURI SHIMBUN 2026

➡ marieclairejapon.com



Welcome to
Our Site!



「marie claire」
LINE公式アカウントはこちら

牡羊座aries 3月21日→4月19日★ライフスタイル、健康の見直しに注目。9月11日の新月は、毎日の生活を快適に過ごすための新しい習慣をスタートさせるのに最適な時期。まずは朝の過ごし方を変えてみる。

役を通して見つめた“声”を届けるとのこと 綾瀬はるか、しなやかな強さを胸に Haruka Ayase

話題作への出演が続き、俳優としてさらなる輝きを放つ綾瀬はるか。
作品ごとに新たな表情を見せながらも、その自然体の魅力は変わらない。
最新主演作『ファーストボイス』で挑んだのは、社会の理不尽に声を上げる弁護士。
作品への思い、そして仕事への向き合い方や日々の暮らしについて聞いた。

photo: Yoshiyuki Nagatomo / styling: Megumi Yoshida
hair: ASASHI (ota office) / make-up: Asami Taguchi (Home Agency)
interview & text: Tomoko Kawakami
direction: Shino Sakurai

『ファーストボイス』の脚本を読んで、役柄のどんなところに
ひかれましたか？

一人の行動、小さな一歩が共感を得て周りを巻き込み、
社会を変えていく。その勇気がすごいなと思いました。私が
演じる弁護士の朝日先生は、うまくいかず落ち込んだ
り焦ったりしても、いつもマイペースで、どこか樂觀的。
「レッツ・ビギン」が口癖で、ちょっと面白いところもチャー
ムポイントです。自分のことよりも誰かのことを親身に考
え、家庭と仕事の両立が大変な時代に挑んでいく姿が
本当にかっこいいと感じました。

映画のクライマックスとなる法廷での演説を通して、伝え
たかったことは？

「想像してみてください」と観客に語りかけるところが好き
です。他人のことだとピンとこなくても、家族や大事な人
が同じ目に遭ったらどう思うか。他人事じゃなく、自分の
こととして想像してみる。その大切さが伝わればいいなと
思いました。法廷でのシーンはまる2日間かけて撮影し、
長い間、緊張感を保つのは大変でしたけど、楽しかった。
朝から夜まで法廷にいて、夜には、みんな顔がびっしょ
りしていましたが(笑)。

女性の共演者が多い現場はいかがでしたか？

基本的に弁護団を演じる俳優さんたちと一緒にいること
が多く、皆さん、ギリギリまでずっとお話ししていました
ね。で、監督が「始まりますよ、聞いてください!」みたいな
(笑)。それぐらい自由で楽しい現場でした。先輩方にも
いろいろなお話を聞かせてもらいました。

仕事と子育てを両立する朝日先生を演じてみて、感じた
ことは？

本当に大変だったろうなと感じました。今ほど社会の理
解が得られなかった時代に子供が3人いて、初めはご主
人も協力的じゃない。それでも難しい仕事に立ち向かっ
ていくのが本当にすごい。彼女はフルパワーで人生を生
きている人だなと思いました。

劇中の1980年代らしいファッションも印象的でした。法
廷では赤いスーツ姿で登場されますが、綾瀬さん自身
も勝負服はありますか？

あの時代の服は肩パッドがすごい(笑)。ファッションも
派手で、リップも紫や赤みたいな、今はなかなかつけない
色。でも、みんながおしゃれを楽しんで、個性に合う服を
着ているところが素敵でした。普段の私は、勝負服とい
うわけではないですが、赤いニットは毎年、クリスマスに着
ています(笑)。いつもは黒が多いけど、赤はやっぱり気
分が上がりますね。

綾瀬さんにとって「勇氣」とは？そして、何かを選ぶときの
軸も教えてください。

自分が信じたことを諦めない。その積み重ねが勇気にな
るのかなと思います。何かを選ぶときは、「ああ、好きだな」
「何か違和感あるな」という最初の手感を大事にしてい
ます。大体、その感覚が正しい気がしますね。

キャリアを重ねて、演じることへの向き合い方は変わりましたか？

演じ方は基本変わってないと思います。ただ、「どうい
うお客さんに何を届けたいのだろう」「どう届くのだろう」と
いうことまで、より考えるようになりました。少し引いた目で
見るようになったのかもしれないです。

日常で心が動くのは、どんなときですか？

仲のいい人の言葉や、家族との日々の暮らしの小さなこ
と。例えば、料理をしている母の姿を見て、「あ、そこはそ
うやるんだ」と思ったことが、ずっと後々まで自分のなかに
残っていたり。親やおばあちゃんなど家族の生き方、生き
ざまもそう。特別な時間でなくても、日々の中で心に触れ
ることがすごくいっぱいある気がします。

心を整えるため、習慣にしていることは？

忙しくてもきちんと食事をす
ることや、台所をきれいにす
ること。生活に根差したこと
を、一つ一つ完了にせず、
きちんと終わらせていく。それ
が、心を整えることにもつな
がっています。料理や掃除な
ど、日々の暮らしをきちんと
やっていくということですね。

――

綾瀬はるか
1985年広島県出身。
映画やドラマ、CMなどで存在感溢れる
役柄を演じ、幅広く活躍。最近の出演作は
映画『レジェンド&バタフライ』
『リボルバー・リリー』(2023)『ルート29』(2024)、
ドラマ「八重の桜」(2013)
「義母と娘のブルース」(2018)
「天国と地獄〜サイコな2人〜」(2021)
「元彼の遺言状」(2022)
「ひとりでしにたい」(2025)など。
2026年は主演映画
『人はなぜラブレターを書くのか』
『箱の中の羊』に続き、
『ファーストボイス』が10/2公開。



1989年、日本で初めて「ハラスメント」が争われた裁判
に着想を得た映画『ファーストボイス』。寝ぐせ頭で法廷
に駆け込む日々を送り、お金にならない案件ばかりを引
き受けるお人好しでありながら、強い信念を胸に立ち上
がる弁護士・朝日道子（綾瀬はるか）のもとに、職場で
理不尽な嫌がらせを受けた女性・上原恵（ファーストサ
マーウィカ）が訪れる。前例なき裁判に「未来につな
がる」と立ち上がる朝日たちの、常識という壁に挑む姿を描
いた痛快リーガルエンターテインメント。信念を貫く型破
りな主人公を綾瀬はるかが生き生きと演じ、松本穂香ら
実力派キャストが共演。勇氣ある一歩が社会を変えてい
く、感動の物語。

『ファーストボイス』
10月2日(金)全国ロードショー
出演: 綾瀬はるか／
ファーストサマーウィカ、松本穂香
監督: 前田 哲
脚本: 橋本裕志
音楽: 富貴晴美
製作:「ファーストボイス」製作委員会
配給: 松竹/ワーナー・ブラザース映画
公式サイト: <https://movies.shochiku.co.jp/firstvoicemovie/>
公式 X / 公式 Instagram: @firstvoicemovie
©2026「ファーストボイス」製作委員会



〈P.6〉オーバーサイズのメンズライク
なセットアップに、スカーフでエレガ
ントな表情を加味。今の時代の気分を
象徴するミックススタイルが、強さも優
しさも携えた綾瀬さんの魅力を引き立
てて。ジャケット¥572,000 パンツ
¥324,500 シャツ¥198,000 スカ
ーフ¥88,000 イヤリング¥132,000
(すべてセリーヌ/セリーヌ ジャパン)

〈Cover〉ドレス¥440,000 スカート
¥520,300 リング¥229,900(すべ
てボッテガ・ヴェネタ/ボッテガ・ヴェ
ネタ ジャパン)



Prada

Miu Miu

Saint Laurent

Sheer Layering

シアーな視覚効果を演出するレイヤードの妙

定番を新鮮にアップデートするアイデアとして、異なる質感を組み合わせたレイヤードスタイルをチェック。特にレースやオーガンジーなど透ける素材がシーズンレスに活躍し、プリントアイテムに重ねたり、異なる色や素材感と組み合わせたりすることで、装いに奥行きと複雑なニュアンスを添える。コーディネート次第でさまざまな表情を楽しめ、今季のキーコンセプトであるパーソナリティとシンクロしたお洒落が叶う。

Courtesy of Gucci



Gucci

Jil Sander

Fendi

Body Celebration

高揚感を呼び覚ますしなやかなボディコンシャス

先シーズンから続くミニマリズムがボディへのフォーカスと合流し、肌にはりつようなシルエットがトレンド最前線に躍り出た。タイトながら流れるようなドレープ感やさりげないゆとり、輝きの効果によって、ストイックさは影を潜め、しなやかな官能性と解放感が際立つ。シームレスなトップスやボディコンドレスに加え、レギンスやトレンカがカムバック。身体と衣服の関係性を再定義する新たな方向性として注目だ。



Valentino

Loewe

Bottega Veneta

Fluffy Sensation

センシュアルな温もりに包み込まれる喜び

シアリングを中心に、起毛ウール、ファーやフェザーライクな素材まで、寒い季節が待ち遠しくなるようなリッチなマテリアルが豊富にラインナップ。思わず触れたくなる贅沢なテクスチャーが魅力で、アウターだけでなく、ドレスなどにも広がっている。毛足がふわふわと舞い、ビッグボリュームでも軽やかな表情。ボディを優しく包み込み、安心感と癒やしをもたらす。豊かな質感を際立たせるため、他はシンプルに徹して。

Courtesy of Giorgio Armani



Hermès

Celine

Giorgio Armani

Tailored Elegance

旬のバランスで魅せるテーラードスタイルの最新形

クラシック回帰の流れから、テーラードスーツが大充実。端正な仕立てをベースとしながら、抜け感を醸すローウエスト、程よい緊張感を生むタイトなシガレットパンツ、きゅっとシェイプされたウエストからたっぷりと広がるペプラムなど、今季らしいバランス変化でフェミニンなタッチを加えるとともに、装いの鮮度をさりげなくアップさせている。グレーをはじめ、スタイリングの応用が利くベージングカラーがオススメ。

2026/27 Fall & Winter Trend Report 秋冬スタイルの鮮度をあげる最新トレンド

めまぐるしいデザイナー交代劇を経て、モード界に新たなクリエイティブの風が吹き込むなか、2026-27年秋冬シーズンに向けて、現代女性の多面的なフェミニニティを讃えるワードローブが提案されている。ファッションの新潮流を映す6つのトレンドをピックアップ。

©Louis Vuitton

realization: Akari II

GoRunway



Dries Van Noten



Louis Vuitton



Chloé



Dior

©CHANEL



Chanel



Balenciaga

Embrace Nostalgia

服に刻まれた時間や人の手の「痕跡」とストーリーを纏う

装う人のアイデンティティを映すストーリー性のある服が希求されるなかで、時代を超えて愛されてきたデザインや手仕事の価値が浮上。経年変化を模した加工、伝統的なチェック柄やアンティーク調の花柄、素朴なグラニニット、フォークロアのクラフトを通じて、時間の蓄積やそこから生まれる愛着がデザインに落とし込まれている。色やシルエットなどどこか一カ所をクリーンに仕上げることで、モダンな日常着へと昇華。

パーソナルな価値を祝福する新時代のエレガンス

数 シーズンに及ぶ大規模なデザイナーシャッフルによって、ファッションシーンは新たなフェーズへと突入。主要ブランドの多くが新体制を始動し、それぞれの未来図を描くなかで、共通のキーワードとして浮上しているのが、「アイデンティティの再構築」である。自らのルーツやヘリテージを見つめ直し、それを揺るぎない軸としながら現代のリアルクローズへと昇華させる姿勢が、多彩なアプローチで具現化されている。

普遍的なテーラリングへの回帰はその象徴であり、大胆にメリハリを利かせ

たフォルムやペプラムなど、プロポーションに変化をもたせることで、オーセンティックな品格はそのまま、はっとするほど新鮮な表情に。凛とした緊張感と軽やかな躍動感が共存する仕上がりは、現代女性の多面的な魅力と力強く響き合う。一方で、ファッションのエモーショナルな喚起力が強く志向されているのも今季の大きな特徴。デジタル化や効率主義が加速化する時代にあって、人の手のぬくもりや物語性を宿す装いが、特別な輝きを放っている。ヴィンテージ調の柄や風合い、手の込んだディテールなど、時の

積み重なりとともに育まれる愛着やパーソナルな記憶を呼び覚ますようなデザインに注目。各ブランドに培われた固有のクラフトマンシップが、時間や手仕事に服に刻む価値に説得力をもたらす。さらに、不確実な情勢下で「安心感」や「確かなリアル」を求める心理を反映し、情緒的な要素と並んで、親密な身体感覚を生むテクスチャーやシルエットにフォーカスしたデザインも際立つ。ファーを筆頭に、目にも肌にも暖かな素材がボディをふんわりと心地よく包む。空気をはらんだパフィなボリューム感も鍵だ。

他方で、ミニマリズムの潮流とシルエット再考の動きが合わさり、ボディコンシャスなデザインや大胆な肌見せも台頭。センシュアルとヘルシーを絶妙なさじ加減で同時に描き出し、ありのままの身体美を個性として祝福するかのようだ。各ブランドが自らのレガシーを見つめ、現代のライフスタイルに寄り添うワードローブを多彩に再定義した今季、時間に育まれたクラシックの価値を宿しつつ、纏う人の多様なパーソナリティと共鳴する服が、現代女性の多様なアイデンティティを優しくも力強く讃えている。



LOUIS VUITTON

自然と共鳴する
色彩とフォルムの美学

ウィメンズ アーティスティック・ディレクターのニコラ・ジェスキエル率いる「ルイ・ヴィトン」の2026-27年秋冬コレクションは、「スーパーネイチャー」がテーマ。気候や環境に適応しながら進化してきた衣服のあり方を見つめ直し、自然との共生を描いた。起毛感のあるハイネックニットは、誇張したショルダーラインが力強いプロポーションを生み出すとともに、パンツにドッキングしたレザーウォーマーによってその印象をさらに主張。自然を思わせる鮮やかなグリーンのパックがシーズンテーマを物語っているかのよう。ニット¥545,600 パンツ¥1,243,000[参考価格] シューズ¥236,500 バッグ¥599,500[W22×H14×D11cm](すべてルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)

The New Codes

シルエットとレイヤードで描く
この秋の新しい
スタイルコード

2026-27年秋冬シーズンを象徴する
注目の6ブランドをピックアップ。
伝統と革新が交差するクリエイションや
卓越したクラフトマンシップ、
現代的に再解釈されたシルエットなど、
各メゾンが描く個性豊かなスタイルから、
今季のムードを紐解く。

photos: Seiji Fujimori
styling: Lisa Sato (Be Natural)
hair: Waka Adachi (eight peace)
make-up: Masayo Tsuda (mod's hair)
model: Mao Takahashi (unknown management)
text: Megumi Otake
direction: Shiho Amano



CHANEL

新たな均衡が生む
洗練のエレガンス

「シャネル」のアーティスティック ディレクター、マチュール・ブレイジーは、ガブリエル・シャネルのコードを現代的に再解釈。「パラボックス」を軸に、現実と幻想といった、相反する要素を共存させた。クラシックなスーツは、ゆったりとしたジャケットに腰位置を落とした細ベルトとプリーツスカートを合わせ、モダンな佇まいに。ダブルCのクラスプを配したクラッチバッグが、抑制されたカラーパレットに鮮やかなアクセントを添える。ジャケット¥1,514,700 シャツ¥757,900 スカート¥1,146,200 ネックレス¥320,100 バッグ[W23×H13×D4cm]¥1,120,900[すべて予定価格](すべてシャネル/シャネル カスタマー ケア センター)



PRADA

秘めた感情を映す
大人のダークロマンス

「プラダ」は一人の女性の内側に潜む幾重もの感性を繊細なレイヤードで表現。静謐なニットからのぞくピンクのシャツ、シアーなスカートを彩る鮮烈なフラワー刺繍、その下で密やかに煌めくビーズの装飾……。異なる素材や色彩が織りなすコントラストが装いに奥行きをもたらし、レイヤリングによって多彩な表情を映し出す。足元は薔薇のモチーフを施したソックスで詩的な余韻を。全身を包み込むように、ほのかなロマンスが溶け合う。ニット¥258,500 シャツ¥319,000 オーガニゼーションスカート¥715,000 スカート¥1,760,000 ソックス¥187,000 シューズ¥258,500 [すべて予定価格] (すべてプラダ／プラダクライアントサービス)



GUCCI

しなやかな強さをまとう
現代の「グッチ」ウーマン

「グッチ」のデザイン哲学を礎に、身体に寄り添うシームレスなシルエットで新たな美を描いた2026年秋冬コレクション。シャープなボディラインが際立つジャケットは、鋭くシェイプしたウエストが彫刻のような造形美を生み出す。手元にはGGキャンバスのチェーンバッグを。ゴールドチェーンが華やかなアクセントを添え、強くなやかな現代の「グッチ」ウーマンを体現。ジャケット¥484,000 ブラウス¥231,000 スカート¥231,000 レッグウェア¥35,200 ピアス¥176,000 バングル¥275,000 バッグ「レディ ルネッタ」[W30.5×H24×D6.5cm] ¥335,500 (すべてグッチ／グッチ クライアントサービス)



DIOR

花々のように咲き誇る
ドラマティックなフォルム

花を思わせる立体的なフォルムと、やわらかな光を宿すテクスチャーで詩情あふれる世界観を描き出した「ディオール」。ジャケットは、深く開いたネックラインからシェイプされたウエストへとつながり、ヒップを包み込むように広がるペプラムで優雅なシルエットに。繊細なカッティングで幾層にもレースを重ね、花びらを思わせる浮遊感を演出。軽やかな素材の重なりがやわらかな陰影を描き、幻想的なフォルムを際立たせる。サイドボタンを利かせたパンツがほどよい抜け感を添え、ジョナサン・アンダーソンらしい自由な感性がクチュールと日常の境界を軽やかに行き来する。ジャケット¥2,200,000 パンツ¥1,700,000〔参考価格〕(ともにディオール／クリスチャン ディオール)



HERMÈS

夕暮れから夜へと誘う
幻想的なコントラスト

夕暮れから夜へと移ろうひとときを、上質な素材と色彩で表現した今年の「エルメス」。バイカー風コートのインナーにケープのように広がる襟のニットを合わせ、力強くも優雅なシルエットを描く。手元に添えたバッグ“クルード・フォルジュ”は、馬具の蹄鉄釘から着想を得たクラスプを配し、メゾンに息づくクラフトマンシップを現代的な造形へと昇華。深いグリーンとブラックのコントラストが、静謐な時間の流れを思わせる。ハイネックニット¥300,300 シャツ¥320,100 ニット〔参考商品〕コート¥1,980,000〔参考価格〕レザー サイクリングシューズ¥1,298,000〔参考価格〕シューズ¥200,200〔参考価格〕 バッグ“クルード・フォルジュ” [W21.5×H15.5×D8.5cm] ¥2,035,000 (すべてエルメス／エルメスジャパン)



Autumn Glow

秋の気配を宿すカラージュエリー

移ろう季節を映し出すように、ジュエリーも深みのある色彩へ。ボルドーやブラウン、艶やかなブラックが織りなすカラージュエリーは、装いにさりげない華やぎと知性を添え、秋の気分を先取りする洗練されたアクセントとして活躍。

realization: Miyuki Kikuchi

YG=イエローゴールド, WG=ホワイトゴールド, PG=ピンクゴールド, RG=ローズゴールド, PT=プラチナ

- 1.Bulgari** ローマ建築の美を映す扇形モチーフに、カーネリアンとダイヤモンドが優雅な輝きを添える。イタリアンエレガンスを象徴する気品あふれるデザイン。ピアス「ディーヴァ ドリーム」[PG×ダイヤモンド×カーネリアン]¥566,500 (ブルガリ/ブルガリ・ジャパン) **2.Piaget** 大胆さとタイムレスな洗練が溶け合うジュエリーは、まるでアート作品のよう。センターストーンのリングのみ、または両リングを合わせた2通りの身に着け方が可能。リング「ピアジェ カクテル」[PG×アメンスト×クリスタル×ガーネット×ダイヤモンド]¥3,014,000 (ピアジェ/ピアジェ コンタクトセンター) **3.Boucheron** メゾン独自の技法が生む、リボンのようにしなやかなロングピアス。身体の動きに合わせて優雅に揺れ、キャトルを象徴する意匠が耳元をエレガントに彩る。イヤリング「キャトル クラシック」[YG×WG×PG×ブラウンPVD]¥9,438,000[予定価格] (ブシュロン/ブシュロン クライアントサービス) **4.Repossi** ダークバーガンディのラッカーを使用した、バリの洗練を称えるシングネチャーリング。2連を思わせるグラフィカルなフォルムがミニマルでありながら印象的な手元を演出してくれる。リング[PG×ダイヤモンド]¥727,100 (レポシ) **5.Pomellato** 動くたびに繊細なチェーンが揺れ、ブラウンとホワイトダイヤモンドが織りなす華やかな輝きが表情を彩る。ピアス[PG×ホワイトダイヤモンド×ブラウンダイヤモンド]¥4,730,000 (ボメラート/ボメラート クライアントサービス) **6.Crivelli** イタリア・ヴァレンツァ発のジュエラー「クリヴェリ」。ホワイトシェルやブラックカルセドニーを配したシックでエレガントな佇まいが魅力。リング[PG×ブラックカルセドニー×ダイヤモンド]¥990,000[9月1日より価格改定] (クレヴェリ/内原ホールディングス) **7.Wako** 英国王室御用達ジュエラーで経験を積んだデザイナー・mika氏と「和光」が手掛けたコラボリング。銀座の街を着想源に流れるような造形とルビーの輝きが上品な個性を添えて。リング「Melty Gems」[YG×PT×ルビー]¥4,840,000 (WAKO/和光) **8.Mio Harutaka** ブラックダイヤモンドで彩られたうさぎモチーフのユニークなリング。マチュアな装いにこそ遊び心を取り入れて。リング[WG×ブラックダイヤモンド×ダイヤモンド×ルビー]¥2,921,600 (ミオ ハルタカ) **9.Sixth Night** 日本の伝統技法と世代を超えて愛される美しいデザインを兼ね備えるジュエリーブランド「シックス・ナイト」。リングトップが可動するユニークなデザインに遊び心と芸術性を添えて。リング「One Rhodolite Garnet Ring」[YG×WG×ダイヤモンド×ロードライトガーネット×タヒチパール]¥1,036,200 (シックス・ナイト)



Suede Chic

レトロなムードを纏うスエードが新鮮

この秋は、マットな質感が装いに奥行きをもたらすスエード小物に注目。深みのあるトーンから鮮やかな発色まで多彩なカラーパレットも魅力。クラシックな趣とモダンな感性が響き合う、旬のラグジュアリーをいち早くチェックして。

styling: Natsumi Sato
direction: Miyuki Kikuchi

- 1.Chanel** アイコニックなバッグを深みのあるグリーンカラーのスエードで刷新。キルティングと“ダブルC”ロゴが織りなす普遍的なエレガンスに今季らしいレトロな表情を添えて。バッグ[W20.5×H12×D6cm]¥1,029,600[予定価格] (シャネル/シャネル カスタマー ケア センター) **2.Gucci** しなやかなスエードにウェブ ストライプとホースビットが映えるアイコンバッグ。「グッチ」を象徴するコードをモダンに昇華しタイムレスな魅力を放つ。バッグ「ババラッツォ」[W32×H24×D13cm]¥522,500 (グッチ/グッチ クライアントサービス) **3.Hermès** 象徴的なモデルのスタッズをあしらった、モードのエッセンスが効いたシックな一足。靴[H7.5cm※実寸]¥392,700 (エルメス/エルメスジャパン) **4.Dior** 構築的なフォルムとしなやかな曲線が調和する新作トート。クリスチャン・ディオールが愛したモチーフ「ボウ」と「カーネージュ」が気品を添え日常を洗練へと導く。バッグ「ディオール ブロムナード ショッパー」[W27×H20×D12.5cm]¥690,000 (ディオール/クリスチャン ディオール) **5.Prada** 深みのあるダークブラウンのスエードと横長シルエットが今季らしい存在感を放つ。実用性とエレガンスを兼ね備え日常を上質に彩るバッグ。バッグ「プラダ アリュージョン」[W33×H22×D15cm]¥484,000[予定価格] (プラダ/プラダ クライアントサービス) **6.Celine** 抱きしめたくるような柔らかなスエードとさりげないトリオンフが魅力。シンプルなデザインが肩の力を抜いたエレガンスを演出する。バッグ「リトル ハーフムーン ソフト トリオンプ」[W25×H13×D5cm]¥374,000[予定価格] (セリーヌ/セリーヌ ジャパン) **7.Roger Vivier** ベールトーンのグリーンが秋のスタイリングに軽やかな彩りを添える。トランペットヒールがタイムレスな魅力を発揮。靴[H7cm]¥124,300 (ロジェ ヴィヴィエ/ロジェ・ヴィヴィエ・ジャパン) **8.Ferragamo** タイムレスなシューズ「VARA」をダークブラウンのスエードでモダンに再解釈。クリスタルの繊細な輝きが映える、日本限定カラーをいち早くチェックして。靴[H3cm]¥176,000 (フェラガモ/フェラガモ・ジャパン) **9.Chloé** 深みのあるボルドーとレザー×スエードの異素材使いが秋の装いを表情豊かにアップデート。バッグ「クロエ スピン」[W27×H30×D14cm]¥279,400 (クロエ/クロエ カスタマーレーションズ) **10.Loewe** スカーフを結んだかのようなシルエットが印象的。しなやかなスエードで「ロエベ」らしい洗練と遊び心を楽しんで。バッグ「スカーフ ミニ」[W24.5×H14.5×D6cm]¥342,100[予定価格] (ロエベ/ロエベ ジャパン クライアントサービス)

普遍的なラグジュアリースタイルを求め続けて

1981年の創業以来、「マイケル・コース」は、ニューヨークという街が持つエネルギーと洗練されたエレガンスを織り交ぜながら、ラグジュアリーを日常へと落とし込んできた。ブランドのデザイン哲学の中核である“ジェットセット”は、旅そのものではなく、世界を

軽やかに行き来し、自分らしく生きることを表す言葉。このライフスタイルのためにデザインされた、シックでエフォートレスでありながら汎用性が高いスタイルを、ジェットセット・ファッションと称し、2009年に発表されたアイコンバッグ“ハミルトン”にも受け継がれている。

2026年、「マイケル・コース」はコレクションラインのデビュー45周年を迎え、ニューヨークへの想いを込めたコレクションを発表。その歩みは、時代を超えて愛される普遍的なデザインと、人々の毎日に寄り添うシックで現代的なラグジュアリースタイルの軌跡そのものといえる。



手に取りやすいラグジュアリーを提案する「マイケル マイケル・コース」は2004年に誕生。2009年の発売以来、リラックス感がありながらモダンでシックなムードを纏うバッグ“ハミルトン”は時代を超えて愛され続ける存在に



社会貢献活動にも積極的なマイケル・コースは2013年、国連WFPとパートナーシップを結び、世界の飢餓撲滅を目指すキャンペーン「ウォッチ・ハンガー・ストップ」を発足。子どもたちの健康と教育を支えるための学校給食という形で、これまでに3,500万食以上の支援を達成してきた。さらに近年では支援地の地域活性化を目指す取り組みへと活動の幅を広げている。また、これまで25年以上にわたり、ニューヨーク市などで深刻な病気を抱える人々に食事を提供する非営利団体への支援も続けている



- 1981 ●マイケル・コースLLC設立
●「マイケル・コースコレクション」がバグドルフ・グッドマンでデビュー
- 1984 ●初のランウェイショーを開催
- 2000 ●ニューヨークのマディソン・アベニューに「マイケル・コース」1号店をオープン
- 2002 ●「マイケル・コース」のメンズウェア・コレクションがスタート
- 2004 ●「マイケル マイケル・コース」のアクセサリとアパレルを発表
- 2010 ●マイケル・コースジャパン株式会社設立
- 2013 ●「ウォッチ・ハンガー・ストップ」キャンペーンを始動
●ニューヨーク・オブザーバー紙「最も影響力のあるニューヨーカー100人」、タイム誌「世界で最も影響力のある100人」に選ばれる
●ファッション工科大学 (FIT) ファッション芸術に対するクチュール・カウンシル賞を受賞
- 2021 ●ブランド創業40周年
●ニューヨークのシアター・ディストリクト (ブロードウェイ) で特別なランウェイショー開催
- 2023 ●「ウォッチ・ハンガー・ストップ」の取り組みが10周年を迎える
●提供された給食が3,000万食に
- 2026 ●ブランド創業45周年

ブランド設立45周年を記念した2026年秋冬のランウェイショーを開催。『ニューヨークシック』をテーマに、愛する街への讃歌を込めた。写真はランウェイショー後に開催されたアフターパーティーでの一場面



ニューヨーク郊外の街、ロングアイランドで生まれ育ったマイケル・コース。マンハッタンファッション工科大学で学び、デザイナーを目指した。そして洗練されたアメリカンスポーツウェアを基盤に、都会的でエフォートレスなラグジュアリースタイルを築き上げ、世界的なブランドへと成長させた

大学在学中に働いていたブティックで才能が開花し、高い評価を受けたことを追い風に、1981年に自身のブランドをスタートする



2002年には、メンズウェアもスタート。クールでスポーティなアメリカンモダンを得意とし、快適で洗練されたスタイルを確立している

information

“JET SET”な旅気分を堪能できるポップアップイベント開催

ブランドの世界観を満喫しながらショッピングを楽しめる特別な店内常設型ラウンジスペース「JET SET LOUNGE」の銀座店オープンを記念し、六本木ヒルズにて期間限定ポップアップイベントを開催。会場では、ブランドにゆかりのある世界5都市をテーマにしたスペシャルドリンクや診断コンテンツ、イマーシブなフォト体験など、“ジェットセット”な旅気分を楽しめるコンテンツをご用意。また、新作ハンドバッグ「ハミルトン・モダン」が当たる抽選も実施する。さらに、9月3日(木)～23日(水・祝)の期間中、全国の対象ストアでは、ポップアップ会場でも提供されるスペシャルドリンクを配布予定。



MICHAEL KORS JET SET LOUNGE TOKYO
-Traveling the World in Style-
会期: 9月3日(木)～6日(日)
時間: 11:00～20:00
(初日のみ13:00～20:00)
会場: 六本木ヒルズ大屋根プラザ
入場無料、事前予約なし



イベント情報や商品に関する詳細はこちら

MICHAEL KORS アイコンバッグ“ハミルトン”の最新作 「マイケル・コース」の 進化するエレガンスを日常に

ニューヨーク発の洗練された“ジェットセット”スタイルを提案し続けている「マイケル・コース」。この秋は、そのエッセンスを受け継ぎながら、旬の表情を纏いアップデートされたアイコンバッグの新たな魅力にフォーカスする。また、今年45周年を迎えた「マイケル・コース」のヘリテージにも改めて注目。

photo: SHINMEI (SEPT)
text: Tomoko Kawakami
direction: Miyuki Kikuchi



進化する“ハミルトン・モダン”から、日本限定の新作バッグが登場!

2009年に誕生したアイコンバッグ“ハミルトン”を現代的にアップデートした“ハミルトン・モダン”に、この秋、新作が加わる。象徴的なバドロックチャームはそのままに、フラップやあえて外して見せるベルトのディテールを取り入れ、よりソフトでモダンな印象へと進化した。サイズ展開も魅力の新作には、日本限定品も! 〈上〉人気のサッチェルバッグは収納力も抜群。柔らかなブラウンのレザーが秋らしい。バッグ“ハミルトン・モダン フラップトップ ハンドル サッチェル LG” [W32×H22.5×D13.5cm] ¥71,500 〈中・下〉デニムとレザーがコンビになったバッグはブラウン×ダークデニムとネイビー×ウォッシュドデニムの2色が揃い、日本限定。チェーンとレザーを使ったストラップは取り外し可能。バッグ“ハミルトン・モダン フラップトップ ハンドル クロスボディ XS” [W24×H12×D11cm] 各¥42,900 (すべてマイケル マイケル・コース/マイケル・コース カスタマーサービス)



独自の美学が宿る
幻想的な色彩

立体的なゴールドビーズでピンクのエナメルを取り囲んだペンダントトップが目を引いて。肌や洋服の上にペンダントトップが重なることで色の濃淡が変化する、ほんのりと透け感のある素材も魅力。ネックレス“ヴィンテージ アルハンブラ ペンダント” [YG×エナメル] 価格未定 (ヴァン クリーフ&アーペル／ヴァン クリーフ&アーペル ル デスク)

大人の甘さが薫る
洗練されたデザイン

デコルテに沿うように10枚のクローバーがリズミカルに連なるネックレス。ゆるやかに曲面を描くエナメルが光を受けて艶めき、モダンな印象に。ネックレス“ヴィンテージ アルハンブラ ロングネックレス、10モチーフ” [YG×エナメル] 価格未定 (ヴァン クリーフ&アーペル／ヴァン クリーフ&アーペル ル デスク)



愛らしさに満ちた
艶やかなエナメル

小さな気泡が含まれたジューシーなエナメルが軽やかにスイングするイヤリングは、ギョシェ彫りのゴールドが耳元で煌めくデザイン。手元にはお揃いのブレスレットを合わせて。ブレスレット“ヴィンテージ アルハンブラ ブレスレット、5モチーフ” [YG×エナメル] イヤリング“マジック アルハンブラ イヤリング、2モチーフ” [YG×エナメル] ともに価格未定 (ともにヴァン クリーフ & アーペル／ヴァン クリーフ & アーペル ル デスク)



Alhambra
New Chapter

「ヴァン クリーフ&アーペル」の
“アルハンブラ”から待望の新作が登場
色彩と輝きで魅せる
幸運のモチーフ

メゾンを象徴するコレクションとして愛され続ける
“アルハンブラ”。みずみずしさが漂う、
透明感のあるエナメルをあしらった新作が誕生した。
纏うことで多彩な表情が浮かび上がる、
ロマンティックなコレクションの魅力に迫る。

photos: SHINMEI (SEPT)
styling: Masayo Kooriyama
realization: Asaka Ikeda
YG=イエローゴールド

四つ葉のクローバーに
幸せのメッセージを託して

四つ葉のクローバーから着想を得た可憐なモチーフが目を引く“アルハンブラ”の誕生は1968年。以来、時代を超えて愛される幸運のシンボルは、オーナメンタルストーンやゴールド、セーヴル陶磁など、さまざまな素材をあしらうことで進化し続けてきた。そして2026年秋、待望の新作に配されたのは、古くからハイジュエリーに使用されてきたエナメル素材。独自の技法で微細な泡のようなインクルージョンをちりばめた透過性のあるピンクのエナメルが連なるロングネックレスで、胸元を華やかに彩って。ネックレス“ヴィンテージ アルハンブラ ロングネックレス、20モチーフ” [YG×エナメル] 価格未定 (ヴァン クリーフ&アーペル／ヴァン クリーフ&アーペル ル デスク)



1920年代

グラフィカルな模様は当時の芸術潮流から影響を受けたもの。(右) ネセセル、1925年
(左) シガレットケース、1928年
(ともにヴァン クリーフ&アーベル コレクション)

1906年

マットな白と半透明の緑の
エナメルで彩られた船体が目を引く
ヴァルナボートの模型。
(ヴァン クリーフ&アーベル コレクション)

History of Enameling

創業時からメゾンと共に歩み続けるエナメルの歴史

1906年の創業以来、「ヴァン クリーフ&アーベル」のさまざまな宝飾品を彩ってきたエナメル。「メゾンで最も古いエナメル作品は、創業年に制作された貴重なオブジェ、ヴァルナボートです。これはアメリカの実業家ウジェーヌ・ヒギンズが所有していたヨットの小型レプリカで、窓のディテールまで精緻に再現されたものでした」とジャン・ピヤンネ氏は語る。

以降、1930年代にはアール・デコ様式の影響を受けた幾何学的なデザインが、1960年代には愛らしい動物や花々など自然界から着想を得た作品が登場。ブリカジュール エナメル技術により透明の花びらが表現できるなど、創造

性の幅を広げたのもエナメルだった。「1980年代後半まで遠い異国にインスパイアされた作品を、エナメルの幅広いカラーパレットで写実的に表現してきました。そして2006年に生まれたメゾン初のポエティック コンプリケーションウォッチにも、文字盤に詩情を吹き込むためにエナメルが採用されました」とピヤンネ氏。

いつの時代もメゾンの繊細なレリーフや情緒溢れる装飾美を際立たせてきたエナメル。“アルハンブラ”の新作にあしらわれたエナメルもまた、「ヴァン クリーフ&アーベル」のクリエイティビティの進化を象徴する存在となっている。



2024年

妖精が舞う幻想的なお花畑をファソネエナメルで表現した逸品。レディ アーベル ジュール アンジャンテ ウォッチ
(ヴァン クリーフ&アーベル / ヴァン クリーフ&アーベル ル デスク)



1960年代

花びらの奥行きやキリンの愛らしい目元が印象的。(左上から時計回りに)
ハコネシダのクリップ、1966年
ピラト クリップ、1967年
フラワークリップ、1968年
ジラフ クリップ、1964年
(すべてヴァン クリーフ&アーベル コレクション)



1974年

写実的に仕上げた蝶々は、今にも羽ばたきそうなお花畑をファソネエナメルで表現した逸品。レディ アーベル ジュール アンジャンテ ウォッチ
(ヴァン クリーフ&アーベル / ヴァン クリーフ&アーベル ル デスク)



1987年

丸みのある立体的なブルーの気球に花々を繊細に描いたクリップ。
熱気球クリップ、1987年
(ヴァン クリーフ&アーベル コレクション)

Special Interview

メゾンの卓越した職人技と進化

“アルハンブラ”に宿るサヴォアフェール

エナメルのモチーフをセットした新作“アルハンブラ”は、メゾンに受け継がれる伝統とクラフトマンシップが集約された逸品。「ヴァン クリーフ&アーベル」の2人のキーパーソンに、コレクションに込められたメッセージや制作の背景を聞いた。

メゾンのDNAと新作に宿るクラフトマンシップ

「創業者の一人であるエステル・アーベルの甥ジャック・アーベルは、“幸運になりたければ、幸運を信じなさい”と述べていました。1920年代のアーカイブには“アルハンブラ”の着想源である四つ葉のクローバーが既に登場しており、“幸運”はメゾンのアイデンティティとして、大切なキーワードとなっています。1968年に最初の“アルハンブラ”のロングネックレスが誕生して以来、純粋で調和のとれたラインを持つこのモチーフは、“幸運”の象徴としてメゾンを代表するアイコンへと成長。

50年以上経った今も、人生に対するポジティブなビジョンを表現し続けています」とプレジデント兼CEOのカトリーヌ・レニエ氏。
エナメルを使用した今回の新作について語るのは、インターナショナル マーケティング&コミュニケーション ディレクターを務めるジャン・ピヤンネ氏。「新たな“アルハンブラ”は、コレクションの永続的な美学に忠実ながらも、前例のない色と素材を披露しています。半透明のピンクのエナメルは、17世紀の“ルージュ ア ロール”として知られ

る着色プロセスにインスパイアされた技術で特別に開発されたもの。ピンクのニュアンスは、顔料ではなく、素材に微細なゴールドの粒子を配合することで実現。作品に幻想的な色彩と光の遊び心をもたらしています。また今回、最も研究開発に時間を要したのが、理想的なピンクの色合い。ゴールドの粒子の形状とサイズ、エナメルの配合濃度に左右される絶妙なカラーは、経験豊富な職人の専門知識により生み出されたもの。エナメルモチーフの制作から複雑なジュエリー加工、セッティングから研

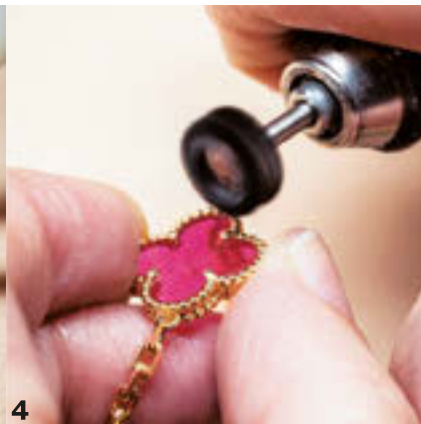
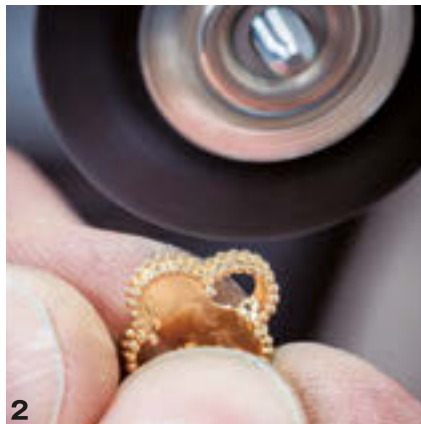
磨に至るまで、さまざまなサヴォアフェールが組み合わせることで、今回の新作が誕生したのです」

Catherine Renier

カトリーヌ・レニエ / プレジデント兼CEO
20年以上にわたりさまざまなジュエリー&ウォッチメゾンでキャリアを築いた後、2003年、「ヴァン クリーフ&アーベル」に入社。2018年からリシュモングループ内でCEOのキャリアを経験後、2024年より現職に就任。

Jean Bienaymé

ジャン・ピヤンネ / インターナショナル マーケティング&コミュニケーション ディレクター
フランスのジュエリーメゾンを経て、2008年に「ヴァン クリーフ&アーベル」に入社。2010年より現職でグループバルを担う。



1,3.四つ葉のクローバーを象ったエナメルモチーフを台座に組み込む作業工程 2.バッドを使用して二重のピースセッティングが施された地金に磨きかける 4.隅々まで丁寧に仕上げる最終研磨 5.10倍ルーペを用いて品質をひとつずつ検査

Dior

「ディオール」の若手写真家アワードで最優秀賞を受賞

「見えないもの」を見つめる。世界が評価した創作の原点とは

「ディオール」が世界の若手写真家・ビジュアルアーティストを支援する「ディオール ヤング フォトグラフィー & ビジュアルアーツ アワード」。第9回を迎えた今年、武信朱璃さんが日本人初となる最優秀賞に輝いた。受賞作品に込めた想いを本人にインタビュー。その原点と世界観に迫った。
photos: © Andrea Cenetiempo text: Shun Tanaka



南 仏・アルル。世界最大級の写真フェスティバル「アルル国際写真展 (Rencontres d'Arles)」の公式プログラムの一つとして、2018年に創設された「ディオール ヤング フォトグラフィー & ビジュアルアーツ アワード」。2026年は25校以上から約320人が応募し、10人のファイナリストの中から、東京藝術大学大学院で学ぶ武信朱璃さんが見事、最優秀賞を受賞した。その創作の原点は、幼い頃の擬似体験につながるという。

「見えないもの」が原点

「幼少期に暮らしていた家では、誰もいない場所から音が聞こえたり、説明のつかない気配を感じたりすることがあった」
幼い頃は恐怖も感じていたが、同時に「見えない何か」と同じ空間で共存しているような感覚もあったそうだ。その経験が、人間の知覚では捉えきれない領域や、未知の存在への関心につながっていった。ただ、武信さんはそれを「幽霊だった」と結論づけたいわけではないと語る。

「物理的な現象だったのかもしれないし、記憶や感覚が生み出したものだったのかもしれませんが。あるいは本当に未知の存在だったのかもしれない。でも、その分からなさそのものが制作の原点なのです」

だからこそ、作品で目指しているのは不可視の存在を証明することではない。「私の制作は、不確かな領域にどのように接近できるのかを探る試みです」

「Threshold」とは何か

見えないものを探究する中で生まれたの

が、今回最優秀賞を受賞した「Threshold」だ。一見すると抽象的なモノクロ写真に見えるが、そのイメージは武信さん自身の身体から生み出されている。自身を何百枚も撮影し、出力した写真を切断・再構築することで、身体の痕跡は残りながらも、身体そのものではない存在を生み出した作品だ。

武信さんはこう説明する。
「この作品は私の身体から生まれていますが、私自身ではありません」
写真になった身体は、すでに肉体そのものではない。そこからさらに変形させることで、自身の身体から少しずつ離れた存在へと変化させていくという。
「物質的な身体を持たない存在を表現しています」

ピーター・フィリップス氏が見た作品の魅力

審査員を務めたディオール メイクアップ クリエイティブ&イメージディレクターのピーター・フィリップス氏は、武信さんについて「自分の感覚を信じ、自分だけの世界を築いているアーティスト」と評価。

「顔のないセルフポートレート」という発想や、古典性と現代性が共存する表現に惹かれたという。

受賞について武信さんは、「文化を越えて受け入れていただけたことが、本当に励みになりました」と、静かに語った。

見えないものを見つめ、分からなさに向き合い続ける。その探究は、これから新たな表現を生み出していくのだろう。

インタビューの続きは→



Christofle

自由な創造と対話の美しき結晶

新たなアール・ド・ヴィーヴルを映す「カルーセル」

自由な発想と、卓越した職人技。その幸せな出会いから誕生した新コレクション「カルーセル」の魅力について、ジュエリーデザイナー、シャルロット・シェネと「クリストフル」CEOのハムディ・シャティに聞いた。

text: Jun Makiguchi

彫

刻作品のようなケースをゆつくりと回すと、有機的な曲線を描くカトラリーが姿を現す。オブジェと実用品。その境界を軽やかに越えたのが、「クリストフル」の新コレクション「カルーセル」だ。テーブルウェアの枠を超え、暮らしを彩るアートピースとして存在感を放つ。「コラボレーションは、何が生まれるか最初は誰にもわからない。まずは対話を始めること。それがすべての出発点です」と「クリストフル」CEOのハムディ・シャティ。互いの世界観に惹かれ合い、完成形を決めずに対話を重ねる。その姿勢こそが、メゾンが大切にしてきた創造のあり方だ。

これまでもジャン・コクトーやジオ・ポンティなど、時代を代表するクリエイターとの協働を重ねてきた。そして新たにパートナーを迎えたのがシャルロット・シェネ。「私はこれを“スペースシップ”と

呼んでいます。金属と木という異なる素材が共存することで、温かみのある作品に。彫刻家ジャン・アルプの有機的な造形から着想を得たんです」とシェネ。

彼女にとって、カトラリーのデザインは長年の夢だった。「この作品には魂を込めました。自由を与えてくれた『クリストフル』の勇気に心から感謝しています」とシェネ。「本物の共同制作ができるブランドというのは、本当にかけがえのないものです」。だからこそ、自身の世界観を余すことなく作品に注ぎ込むことができたという。

一方、「クリストフル」が担ったのは、その創造性を最高峰の技術で形にすること。約200年受け継がれた職人技が、シェネが望んだ複雑な構造や繊細な仕上げを実現した。シャティはこう話す。「そこに自然に存在しているように見えるものは、“あるべき場所にある”ということ。その思想をフランス語では『エヴィダンス』

と呼びます。美と機能、デザイナーの個性、そのすべてが自然に感じられる。そう思えた時、この旅は実を結んだと言えるのです」



金銀のツートーンは「『クリストフル』、そして私のブランドのDNAでもある」とシェネ。「このオブジェは映り込みが歪んで見える。見る人にさまざまな感情を呼び起こすのです」。“バーチャリーゴールド”と呼ばれるカトラリーデザインは、金と銀の境界線にマスクングをして金を施す繊細な手仕事により生まれる。「カルーセル」カトラリーセット[内容: テーブルナイフ、テーブルフォーク、テーブルスプーン、デザートスプーン 各6本 合計24本] バーチャリーゴールド¥1,739,100(写真)、シルバーコーティング ¥790,900 /ともにクリストフル



Charlotte Chesnais
シャルロット・シェネ

「バレンシアガ」でプレタポルテを担当していた際、ジュエリーを創作。2015年に自身のブランドをローンチ。他メゾンのコンサルティングデザイナーとしても活躍。3人の母。



現代アートセンター「リュマ・アルル」内に設けられた会場

The Dior Photography & Visual Arts Award for Young Talentsとは

「ディオール」が2018年に創設した若手写真家・ビジュアルアーティストを支援するためのアワード。フランス・アルルのアート拠点リュマ・アルル (LUMA Arles)、アルル国立高等写真学校 (ENSP) とのパートナーシップのもと開催され、世界の主要な芸術・写真学校に所属する学生や近年の卒業生が参加する。2026年は25校以上から約320人が応募し、10人のファイナリストを選出。審査は英国人写真家デヴィッド・シムズ氏が審査委員長に、ピーター・フィリップス氏が務めた。



受賞式で、審査員らと武信さん



審査員を務めたピーター・フィリップス氏

SUQQU

上質な輝きを放つ、なめらかで美しい仕上がり この秋、さらに艶めく肌へ

リニューアルした「SUQQU ザ リクイド ファンデーション e」は、
“艶”に対する今までの概念を覆すリクイドファンデーション。
その崇高なまでの艶、高輝度な仕上りの秘密を解き明かそう。

photo: SHINMEI (SEPT)
text: Mayumi Kurata



進化し続ける艶。
メイクする喜びを肌に
艶にこだわってきた「SUQQU」ならではの技術により、粉体の“点”ではなく“面”でのび広がり、ヨレや粉っぽさのないなめらかな仕上がり。どんな肌にも寄り添うナチュラルな色展開の12色が、赤みを抑えたり、明るさを足したりといった調整も自在。「ベースメイクが苦手」という人にも使ってほしい。SUQQU ザ リクイド ファンデーション e SPF20～25 PA++～++++ (色番により異なる) 全12色 各30mL 各¥11,000 / SUQQU

艶

さえあれば——。大人の肌においては、そう言っても過言ではない。艶めく肌の先には、品格や洗練があり、年齢さえも魅力に変えてしまう可能性を秘めているから。「SUQQU ザ リクイド ファンデーション e」を使ったとき、そう確信した。

「SUQQU」のリクイドファンデ史上最高の“艶高”さを持つ「SUQQU ザ リクイド ファンデーション e」は、まずそのテクスチャーに驚く。みずみずしく軽くすーっ

とのびて、粉っぽさや厚塗り感がまったくない。まるで“光のとりみ感”をまとったかのようなつけ心地で、びたっと密着。あくまでも“その人自身の肌”を感じさせる自然さなのだ。それでいて、くすみ、色ムラに対するカバー力とロングラスティング感もある。この相反する仕上りの秘密は、ゲル化された2種類の高輝度オイルと、粉体だったピグメントを液状化する技術による。上すべりすることなく肌とフィットし、磨き上げたように美

しく、毛穴などの凹凸が目立たないなめらかな肌をつくる。肌の奥から輝度の高い光を放つような——。それほどまでに上質な艶は、「SUQQU」でなければ出せなかっただろう。

肌は、ときとして何よりも雄弁に、その人の品格を映し出す。「SUQQU ザ リクイド ファンデーション e」をまとった肌には、洗練された“艶高”さが備わり、その人の印象を美しく塗り変える。

marie claire
BEAUTY



Base Make Up Cloud Skin Trend 静かなツヤを宿す肌

ベースメイクから始める初秋。今の気分は、ソフトフォーカスフィルターをかけたように、肌をふわりとぼかす“クラウドスキン”。艶々すぎず、マットすぎない、雲のように柔らかな仕上がりを目指したい。今季は美容液並みのエイジングケア力を備えたファンデーションが揃う。つけている間ずっとうるおい、毎日の積み重ねで顔印象をも変える——。今と未来、ふたつの美しさを育む逸品を選びたい。

text: Kiriko Sano

1. ESTÉE LAUDER スキンケア成分が8割を占め、うるおったフローレススキンが長続き。ダブル ウェア スキンフィット クッション SPF40 PA+++ 全6色 ¥8,800 / エスティ ローダー **2. SHISEIDO** 色材、マッドジェル、皮脂吸着ヴェールを美容液で包んだカプセルにより、端正な肌に。エッセンス スキンスムース ファンデーション SPF30 PA+++ 30mL 全12色 ¥7,590 / SHISEIDO **3. POLA** ブランド最高峰シリーズのケア成分を贅沢にイン。押し上げるようなハリ感で、均一な肌印象へと導く。B.A デイ プランプ ファンデーション SPF25 PA++ 30g 全6色 ¥16,500 (セット価格) / ポーラ **4. ALBION** 得意とする“乳液”の技術を応用して、スムーズなツヤ肌に仕上げる。アルビオン スタジオ ミルク ファンデーション SPF29 PA+++ UV耐水性★ 30mL 全8色 ¥7,150 / アルビオン **5. SOFINA Primavista** “キメの整った角層”を研究し、肌表面に寄り添うようにフィット。生肌カバーバーム ファンデーション SPF30 PA+++ 全5色 ¥4,400 (編集部調べ・セット価格 9月12日発売) / 花王 **6. GUERLAIN** 希少なハチミツや植物エキスをスキンケア。24Kゴールドで肌にジュエリーのような輝きを宿して。バリュール ゴールド スキン セロム フルイド SPF45 PA++++ 35mL 全10色 ¥14,300 / ゲラン **7. SUQQU** ツヤにこだわりの、濁りや曇りのないクリアな仕上がりへ。大人にふさわしい、品格のある仕上がり。ザ ファンデーション e SPF25 PA++ (020、105、110、115、125、200、205、210、220) SPF30 PA++ (025、030、130) 30g 全12色 ¥14,300 (9月4日発売) / スック **8. SENSAI** 世界初の成分乳化技術で、極限までケア成分を配合。もはや、“色つきのエイジングケアクリーム”と呼べるほど。UTM ザ ファンデーション SPF10 PA++ 30mL 全4色 ¥36,300 (10月7日発売) / カネボウ化粧品

How to make up



〈P28〉秋色リップのグロッシューな透け感が今っぽい。アイメイクはアイシャドウの右上のラメを上まぶたのキワだけにのせ、輝きを引き算。ツヤ感のあるブラウニッシュレッドのティントリップで印象的な口もとに。
1. ラブソリュ ルージュ グレーズ ティンテーション703 ¥5,610 /ランコム
2. パルフェ クール パレット 07 〈アイカラー〉¥7,700 /エレガンス



〈P29〉目もとのカラーが主役。アイシャドウパレットの右上を、上まぶたの目頭側にライン状にのせ、アイライナーは目尻側中心にオン。唇は、マットな質感の秋らしいコーヒブラウンを、ラブに纏って。
3. YSL リベレイテッド アイライナー ウォータープルーフ13 ¥4,840 /イヴ・サンローラン **4.** コンフィデント マットリップ008 ¥4,180 /アディクション **5.** シグニチャーカラーアイズ 156 ¥8,250 /スック



〈P28〉ネックウォーマー ¥15,400、
ジャケット¥107,800 (ハイク / ボウルズ) ネックレス¥9,856,000 (メシカ / メシカ ジャパン)
〈P29〉ドレス¥158,400 (スポーツマックス / マックスマーラ ジャパン)

「ヴィヴィッドなターコイズを潔く。
普段と違う顔になれるのが楽しい」
中村アンさん

Anne Nakamura
中村アン・1987年生まれ。立て続けに話題作に出演し、確かな存在感で注目を集める一方、ライフスタイルにおいても多くの女性たちから絶大な支持を得ている。10月9日(金)公開の映画『汝、星のごとく』に出演。

Hankyu Beauty 俳優 中村アンが纏う洗練の秋色メイク

季節の移ろいを予感させる、秋の新作色が到着。ディープカラーの唇、スタイリッシュなワントーン、モードなアイラインでつくる目もと——。中村アンが魅せる、シックな秋の表情。

photos: Yusuke Miyazaki (SEPT), hair: Tetsuya Yamakata (SIGNO)
make-up: Nobuko Maekawa (Perle Management), styling: Masami Tanaka
realization: Kiriko Sano



photo: Yasunobu Kobayashi

marie claire digital

写真家・小林廉宜さんとピアニスト・クリスト加藤尚子さんが紡ぐ
森のシンフォニー写真と音楽の往復書簡

記事はこちら





Blue Box Café by Natsuko Shoji

ブルー ボックス カフェ [東京]

ティファニー ブルーの世界で楽しむ
オリジナルカクテル

和牛チーズバーガーなど、
バーフードも充実

アジアのベスト女性シェフ・ベストペストリーシェフの2冠に輝く庄司夏子氏が手がける「ブルー ボックス カフェ」。ティファニー ブルーの大理石の床からブルー ボックスが飾られた天井、世界的なフラワーアーティスト、東信氏によるフラワーインсталレーションという「ティファニー」のアイコン的な世界を感じながら、ただ朝食やアフタヌーンティーが大人

気。カフェという名前ながら、実はバー利用も可能。ここでのカクテルのために、庄司シェフは本内酒造と共同でアフタヌーンティーから出るパンの耳などをアップサイクルした特別なジン「Bé-Gin」を開発。ジンの香り要素には、種が多くあり活用されてこなかった日本原産の柑橘、福来みかんを使用しており、このジンを使ったカクテルを9月以降も提供予定。

ティファニー ブルーに統一された店内 (写真上)。シグネチャーカクテルの「ティファニーブルーマティーニ」(同左) ¥2,600 (税込み・サ別) は、アルコール度1〜2%ほど。マティーニの気分が味わえつつも軽やかなアルコール感とライムの清涼感が楽しめる一品。「美食をもっとサステナブルに」と考える庄司シェフ。店内のショーケース (同右) には東信氏のフラワーインсталレーションと共に、アートとして庄司シェフの代表作、マンガータルトが飾られている

東京都中央区銀座6-9-2 4階
tel: 03-5005-0107
営業時間: 10:30〜20:30 不定休
www.tiffany.co.jp/stories/tiffany-ginza/blue-box-cafe/



Bar Toki

Bar 刻 (とき) [福井]

世界的
デザインアワードを受賞、
黒龍が楽しめるバー

黒龍グループが運営する複合施設「ESHIKOTO」に隣接するオーベルジュ「歓宿縁 ESHIKOTO」内にオープンしたバー。

今年、世界的に著名なドイツのデザインアワードで金賞を受賞、内と外が緩やかにつながり、水盤の上に浮かぶような建物の中に、カウンター6席、テーブル6席のみの空間がある。優れた食材を提供する「御食の国」として古くから皇室に食材を提供

してきた福井県らしく、つまみには1804年創業の日本最古のうに商「天たつ」のうに豆を提供するなど、郷土の豊かさを表現する。季節のフルーツと黒龍酒造の日本酒を合わせたカクテルのほか、醸造の際に出る酒粕を使った「粕取り焼酎」を、福井県産のサクラやナラ、クリなどの樽で寝かせて木の香りを移した「刻 樽熟」(¥3,300 税込み・サ別) は、ここでしか楽しめない特別なスピリッツ。



果物とのマリナーージュで、
さまざまなタイプの日本酒の
新たな魅力を発見!

三方がガラス張り、里山の情景に溶け込む佇まい。各種カクテルは、福井発のフルーツ専門カクテルバー「ジョルノ」のオーナーバーテンダー・安川翔太氏プロデュース、黒龍大吟醸メロン¥3,200、黒龍貴醸酒×キウイ¥2,900など、日本酒とフルーツの相性の良さに驚く。今世界で注目される日本酒カクテルの可能性を感じてみては

福井県吉田郡永平寺町下浄法寺10-15-1
歓宿縁 ESHIKOTO内
tel: 0776-50-1323
営業時間: 17:00〜23:00 (LO.22:30) 無休
https://kanshukuen.com/eat/toki/



Yoi

宵 (ヨイ) [京都]

学校建築の面影残る空間。
光るカクテルで世界のトレンドを満喫

名前は京都の夜の始まり「宵」更けゆく時に合わせ、心地よくアルコールを嗜んでほしいという願いから。元々小学校だったということから、当時の校舎で使われていた木材や照明器具などをインテリアとして活用。そんなノスタルジックな雰囲気を感じ上げるのは、昭和のシティポップを中心としたBGM。そこに、パカルディ・マルティニー・格蘭プリで世界1位を獲得するなど、世界で輝かしい経歴を持つイタリア人ミクソロジーディレクター、マリオ・ラ・ビエトゥラ氏の手による、日本のスピリッツの魅力を表現するイノベティブなカクテルが提供される。店内に入るとすぐ、2つのカウンターがあり、一つはカクテル、もう一つは料理

人の包丁技が楽しめる割烹スタイルになっていて、ライブ感が楽しめる。既視感とモダンが調和する、懐かしく新しい世界観を満喫して。

カベラ京都の中庭から望む建物 (写真右)。風情あふれる日本らしい外観は、隈研吾氏のデザイン。光るシグネチャーカクテル「ジャパニーズ ローファー」(同左下) ¥2,800 (税・サ込み、以下同) は日本のボタニカルを使ったジン「季の美」にイタリア産ベルガモットリキュール「イタリカス」を合わせた爽快なカクテル。Yoiお刺身盛り合わせ3種¥5,800や黒毛和牛フィレ肉カツサンド¥12,800など、フード類も充実。明治2年開校の「新道小学校」が前身。当時をしのばせるインテリアも

京都府京都市東山区小松町130 カベラ京都1階
tel: 075-541-8877 (ホテル代表)
営業時間: 17:30〜24:00 無休
www.capellahotels.com/jp/capella-kyoto



タヒチ語で最高を意味するマイタイ。「洋梨香るマイタイ」(写真右) ¥3,500 (税・サ込み) はジャマイカ産ラム酒とスパイスを漬け込んだラム酒の2種類に洋梨のブランデーとアーモンドシロップを合わせ、スパシーな中に洗練された味わいを表現。1980〜1990年代のR&B、ソウル、ジャズ、ヒップホップなどの多彩なジャンルの名曲と希少なアナログレコード盤を回すDJプレイとハイレファイサウンドシステムで、通常のバーとは一味違うサウンド空間に



Bar

最新版!

独自の世界観も楽しめる、
素敵空間のバー4選

進化を遂げるバーシーン。卓越したバーテンダーの技やカクテルの味わいはもちろん、独自の世界観も満喫できるバーが注目を集めている。

ここ1年でオープンした最旬バー4選をご紹介します。

text: Kyoko Nakayama

OFF RECORD

オフレコード [東京]

東京タワービュー、隠し扉の
向こうにある大人のレコードバー

フェアモント東京の最上階に誕生したシークレット・レコードバー「OFF RECORD」。ロンドンやニューヨーク、さらには東南アジアや中東まで、世界での経験豊富なバーディレクター・齋藤秀幸氏が手がけるバー「DRIFTWOOD」の片隅に魔法の扉が。棚の一角に手をかざすと扉が開くというのも隠れ家感を盛り上げる。毎日20時からDJが入り、極上のオーディオシステムからの音楽が夜を彩る。遊び心あふれる齋藤氏らしく、レコードをかたどったメニューからカクテルを選ぶというシステム。伝統的ミュージシャンにインスパイアされた4作品のモダンアートに着想を得たカクテルが並ぶ。一種「ジャケ買い」的なオーダーができるのが楽しい。知っているのとちょっと自慢できる、大人の遊び心をくすぐる全14席。東京タワーが見える窓際の席が特におすすめだ。

レコード形のメニューは、
ちょっとしたトリックで
裏メニューが登場



東京都港区芝浦1-1-1 フェアモント東京 43階
tel: 03-4321-1111
営業時間: 20:00〜26:00 無休
fairmont.jp/tokyo



PARMIGIANO REGGIANO

約900年の伝統

イタリアの大地が生み出す至高の味

今年6月、イタリア共和国建国80周年、日伊国交樹立160周年を祝い、駐日イタリア大使公邸で行われたレセプション。その祝賀の輪の中心には、パルミジャーノ・レッジャーノがあった。「チーズの王様」として愛される、その魅力とは。

text: Kyoko Nakayama

世紀を超えて受け継がれる イタリアの職人技

豪華な宮廷文化が花ひらいた中世・ルネサンス期には既に、貴族たちの食卓を彩ってきたとされるパルミジャーノ・レッジャーノ。現在ではEUが定める厳しい原産地呼称保護制度(PDO)により、北イタリア、エミリア・ロマーニャ州、ロンバルディア州の一部で採れた最高品質の生乳だけを使い、最低12カ月の熟成を経て生み出されたものがその名を名乗ることが許される。この特別なチーズは約900年にわたり、生乳、塩、天然の凝乳酵素というたった3つの材料にこだわり、ずっと同じ原材料、製法で脈々と受け継がれてきた。外皮に刻印された「カゼインプレート番号」を、パルミジャーノ・レッジャーノ・チーズ協会のウェブサイトに入力すると、原料となった生乳を生産した酪農家まで辿ることができるのは、一つ一つのチーズが、職人のプライドをかけて作られた「作品」であることの証し。ミナルだからこそごまかしが利かない、そんな時代を超えたものづくりの情熱に磨かれてきたパルミジャーノ・レッジャーノは、武士道や茶道などの日本文化が内包する「道」の哲学とも重なって映る。

昨年発表された 「パルミジャーノ・ レッジャーノ道」とは

イタリアには「パルミジャーノ・レッジャーノ道」とも言える考え方がある、とヤマノアンドアソシエイツ クリエイティブ・ディレクター ティツィアーナ・アランブ



「パルミジャーノ・レッジャーノ道」を新たに表現した



表面を定期的にブラシで磨くなど、職人によるきめ細かい手入れが欠かせない

レーゼ氏は昨年、書家・中塚翠^{すいろう}壽氏に日本文化の「道」との共鳴を具現化するように依頼。見事な筆致のロゴと共に悟りや真理を意味する「円相」をデザインしたシンボルマークが生まれた。それから1年を迎えるこの度、イメージの深化として中塚氏が考案したシンボルは「円・三角・四角」。「天・地・人」を表すという。

それぞれの要素が重なり合ってこそ生まれる悠久の大地の恵み、パルミジャーノ・レッジャーノ。中でも長期熟

成に耐えうる最高品質のものは、4年という歳月を超えてリリースされ、まるでクリスタルのように結晶化した旨みが愛されている。この「チーズの王様」が象徴するのは、本物、伝統、自然、美味しい、楽しいという5つの要素「5道」。そのどれもが、私たちが口にした時に、紡がれた至高の味という大団円へとつながってゆく。職人の手が生み出す、イタリアの風土に磨かれた味を、感じてみてはいかがだろうか。



本プロジェクトは欧州連合の資金協力を受けています。ただしここに示された意見は著者自身のものであり、必ずしも欧州連合または資金提供機関の見解を反映するものではありません。欧州連合および資金提供機関は、これらの内容について一切の責任を負いません。EU Reg.1144/2014 / Contract No. 101194314 ENSO_U



産地として認定されているのは、イタリア半島の付け根にあるポー川周辺のパルマ、レッジョエミリア、モデナ、ボローニャ、マントヴァの5つの地域



搾りたての生乳を伝統的な銅製の窯に入れ、加熱と凝固を経て作られている



側面には、「本物の証し」である楕円形のマークが焼き付けられる

Gourmet Tips



熟成の若いものはスパークリングワインとの相性が◎。ナッツのような香りがある長期熟成のものは、上質な赤ワインと合わせてじっくりと味わいたい。ちなみに、風味が最も引き立つ提供温度は15度。

日本各地の美食を訪ねて 浜田岳文のガストロノミー ジャーニー Vol. ②



Takefumi Hamada
1974年兵庫県生まれ。
米国・イェール大学在学中から食べ歩きを始め、世界128カ国・地域を踏破。世界No.1レストランレビュアー。「The World's 50 Best Restaurants」の日本の評議委員長も務める。著書に「美食の教養」(ダイヤモンド社)。

Foodie note



1. フカヒレの種類や部位を説明
2. シェフが調理するキッチンスペース
3. 3種のフカヒレを使用した煮込み
4. 煮込みとともに山菜と筍のご飯を
5. フカヒレと黒トリュフの小籠包
6. 焼ききたスフレをデザートに
7. 中国茶のティーペアリングも

marie claire
FOOD

KUROMORI 気仙沼 クロモリ [宮城県]

地方にはその土地に根ざした美食を味わえる名店がある。フーディーの浜田岳文さんが旅の目的地に選んだのは、宮城県の「気仙沼 KUROMORI」。世界でも類を見ないフカヒレ料理専門店だ。

photos: Takefumi Hamada / interview & text: Saya Tsukahara



ヨシキリサメの背ビレを使ったサラダ。地元の野菜を、キクイモやパプリカなどを使ったソース、ギョウジャンニクのマヨネーズと

気仙沼のフカヒレを通してサステナビリティを深く考える—— 浜田岳文

「気仙沼 KUROMORI」の黒森洋司シェフは、東京にある広東料理の名店「福臨門魚翅海鮮酒家」などで経験を積まれた方です。東日本大震災の復興支援で宮城県の生産者さんとな

りがりができ、2014年に仙台で「楽・食・健・美-KUROMORI-」を開店しました。そこで宮城を中心とした東北の食材にフォーカスするようになります。生産者さんの元へ赴いて、宮城では生産されていない食材も新たに作ってもらうなど、第一次産業にもポジティブな影響を与えながらお店を成長させていき、数年を経て、全国に名がとどろく名店になりました。そして、彼が次のチャレンジの場として選んだのが、気仙沼です。

気仙沼港はサメの水揚げ量が日本一で、古くからサメの水産加工業が盛んな地域。この地でフカヒレ加工を専門にしてきた石渡商店さんのフカヒレに、黒森シェフは惚れ込みました。背景にある歴史や文化にも共鳴して移転に至ったのです。仙台の時は中華料理でしたが、気仙沼で展開するのはフカヒレを使った多様な料理。フカヒレというとスープや姿煮、焼きな

どの調理法が王道ですが、新たな食べ方を知ることができます。

実はフカヒレは今、世界的にはネガティブに捉えられている食材なのです。グローバルなホテルチェーンでは提供禁止が広がっています。先日、上海の名店を数日巡りましたが、一度も出てきませんでした。理由は、サメのヒレだけを切り取り、胴体を海に捨てる「フィニング」という行為が横行しているからです。

一方、気仙沼では、伝統的にサメのあらゆる部位を使ってきました。身はかまぼこ、骨や内臓はサプリの原料、皮は革製品というふうに、余すことなく活用しているのです。フカヒレを一律に使わないという判断は、理解が浅いと言わざるを得ません。どこで獲られ、どう使われているかまで見て、解像度を高めることが大切。「気仙沼 KUROMORI」が脚光を浴び、気仙沼のフカヒレを通してサステナビリティへの考えが深まってほしいと思います。

フカヒレと言っても、サメの種類とヒレの場所の掛け算でバリエーションがあります。繊維が太いものもあれば、繊細さを楽しむものやコリコリした食感のものもあ

り、違いをうまく料理に生かしている。例えば、フカヒレの煮込み。アオザメの尾ビレ、ヨシキリサメの尾ビレ、モウカザメの胸ビレを使い、それぞれをある程度いたいた後、宮城県特産の白石温麺と合わせます。また、前菜には「モウカの星」というモウカザメの心臓も使っていました。心臓は漁師町などでよく食べますが、捨てられることもある部位です。そういうものをちゃんと生かしているのが素晴らしい。

レストラン内にはラボのようなキッチンスペースがあり、加工プロセスの映像などを流しながら調理の一部を見せてくれます。黒森さんは生産者と意見交換を重ね、フカヒレという食材をさらに探究している。フカヒレ料理を幅広く味わってほしいという思いから、カジュアルなランチや朝食も提供しています。ホテルにお店を構えているので、ぜひ宿泊して気仙沼の街を散策していただきたいですね。

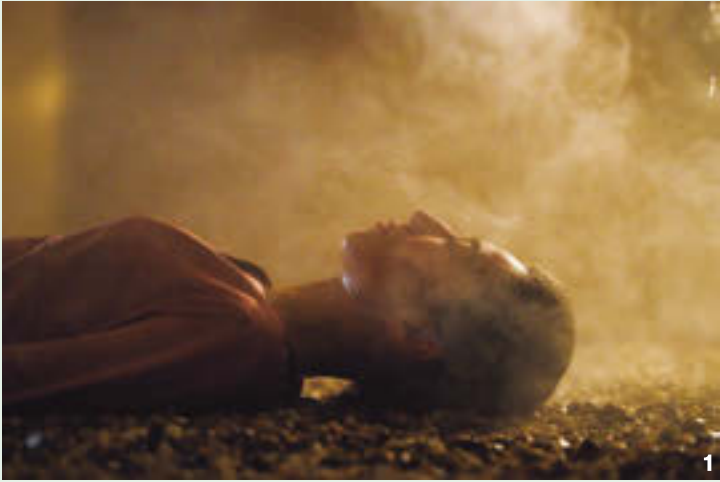
※料理情報は来店当時。季節や仕入れで変動あり

「気仙沼 KUROMORI」
宮城県気仙沼市弁天町1-4-7 ホテル—景閣1F
予約はOMAKASEから
<https://kesenuma-kuromori.jp>

Enoura-rimon

江之浦リトリート 凜門 〔神奈川県〕

自律神経の整う「ルフロ湯治」が、上質な眠りへいざなう



1. 12種類の国産天然鉱石を敷き詰めた「ルフロ湯治」。石から放たれる遠赤外線やラジウム
の力で、血行促進&発汗でデトックス 2. 土地の風土で育った生命力溢れる食材を、余すこと
なく料理に 3. 江之浦のビオトープに囲まれたロケーション

Kazenotaninoiori

風の谷の庵 〔愛知県〕

三河の自然を五感で感じる、快眠プランが人気



1. 幽玄な自然の夕景に癒やされる 2. 高反発で寝返りしやすい「エアウィーヴ」の高機能マッ
レスと枕、極上の柔らかさを持つ三河木綿のガーゼケットを採用 3. 吸湿性に優れ蒸れにくく、
柔らかな肌触りのガーゼのパジャマで、心地よい眠りへ

THE SCENE amami wellness & resort

ザシーン 〔鹿児島県〕

海、空、圧倒的な大自然の中で心身をクレンジ



1. 全室ガラス張りの客室。目の前に広がるのは、加計呂麻島を望む絶景 2. ウミガメが生息す
る国立公園の海でのダイビング体験 3. ヨガをはじめアクティビティが充実。自然とのつながり
を感じながら、心のデトックスを

柑

橘畑に囲まれた小田原の高台に佇む「江之浦リトリート 凜門」。段々畑をのんびりと散歩しながら、緩やかに流れる時間に身を任せよう。館内には、特許技術のクラフト温泉「ルフロ湯治」を完備。天然温泉から抽出した、30種類を超える良質なミネラルを含んだミストに全身を包まれる、それはまさに進化した湯治だ。「ミスト浴が代謝を促し、自律神経を



Check!

●スペシャル湯治スタイプラン

1泊2食 ルフロ湯治利用を含む

料金: ¥78,840～(1室2名利用時1名あたり 税・サービス料込み)



愛

知県・蒲郡温泉の山の中、心地よい時間が流れる宿「風の谷の庵」。離れの客室は、全てが温泉露天風呂付き。鳥のさえずりや木々を渡る風の音に包まれながら、心と身体を解きほぐそう。三橋さん監修のプランでは、良質な睡眠をとるための部屋や環境を提供。「自然が豊かな三河ならではの体験を取り入れました。夕食は快眠効果のある食材を使



Check!

●快眠プラン 美味飯身～Sleep Retreat Mikawa～

1泊2食 線香花火体験や快眠アイテム利用を含む

料金: ¥50,600～(1室2名利用時1名あたり 税・サービス料込み、入湯税150円別)

奄

美大島本島の最南端、青い海と大自然に囲まれたウェルネスリゾートホテル「THE SCENE amami wellness & resort」。「夜は圧倒的な暗闇と星空、朝は太平洋から昇る朝日。オーシャンビューの部屋に届く波の音。サンセットヨガや星空観賞など、滞在中のすべてが「自律神経のオン・オフ」を作用するように計算されていて、身体の生物学的な



Check!

●「大人のはじめて」ウェルネスダイビング3泊4日プラン

開催期間: 9～3月 1泊2食 ウェルネスダイビング体験

(機材レンタル一式、マンツーマン指導、水中写真撮影含む)、サンセットヨガ

料金: ¥188,000～(1室2名利用時1名あたり 税込み)

徹底的に整えます。食事は地元の滋味豊かな食材を使い、発酵や酵素にこだわった身体が内側から喜ぶメニュー。トリートメントを組み合わせた滞在が、上質な睡眠へといざなってくれるでしょう」(三橋さん)

神奈川県小田原市江之浦218-1

tel: 0465-27-3711

enoura-rimon.com

用した、地産地消の会席料理。地元で作られた『エアウィーヴ』の寝具など、快眠アイテムも取り揃えています」(三橋さん)。日本の花火発祥の地・三河の線香花火に心を研ぎ澄ます、特別でマインドフルな体験も。

愛知県額田郡幸田町大字荻字遠峰10

tel: 0564-56-3030

kazenotaninoiori.kaiei-ryokans.com

ル

ーティンに追われる日々の慌ただしさに加え、猛暑を超えた酷暑のダメージも。夏の疲労回復には、免疫力アップにも関わる睡眠が重要と、快眠セラピストの三橋美穂さん。「睡眠の質を高めるために、就寝起床時刻をなるべく一定に保って体内時計を整える。そして、午前中にしっかり太陽の光を浴びておくことが大切です。日中に分泌されるセロトニンが、夜暗くなるとメラトニンに変わり、自然な睡眠に導いてくれるのです。夕方に体を動かして体温を上げておく、夜遅い時間に食事をしない、寝室を快適な温度や湿度に保つなども心がけたいですね」。環境を変えるスリープリトリートも効果的だそう。「ノイズの多い都市部から離

れた、自然に囲まれた場所がいいですね。木々のざわめきや波の音などには、リラックスをもたらすという1/fゆらぎがあります。また、快眠にこだわった寝具やパジャマ、アロマなどが用意されている施設やお部屋を選ぶのもおすすめです。こうした場所を利用しながら心身をリセットし、自分自身を深いところから回復させていく時間が、現代人には必要だと思います」。そこで、三橋さん監修の快眠プランのある宿や、三橋さんが泊まってみたいというリトリート施設を紹介する。

――
Miho Mihashi 三橋美穂
快眠セラピスト、睡眠環境プランナー。1万人以上の眠りの悩みを解決してきた睡眠のスペシャリスト。講演活動や、寝具・快眠グッズのプロデュースも。著書も多数。sleeppeace.com

Retreat

夏の疲れを癒やして 眠りを整える スリープリトリート

溜まった疲れが一気に現れてくる夏の終わり。今こそ自分を解放し、存分に癒やす旅に出るタイミングだ。ウェルネスのベースとなる、健やかな睡眠をもたらしてくれる、施設やプログラムをピックアップ。

text: Satsuki Tadokoro

世界自然遺産である奄美大島。美しい海と山に囲まれたロケーションにサンセットが映える

Four Seasons Hotel Tokyo at Otemachi

フォーシーズンズホテル東京大手町 ザ スパ 〔東京都〕

天空のサンクチュアリスパで、深い眠りのトリートメント



1.首、肩、腰を中心とする全身マッサージでは、スリーブに特化したオイルを使用。最後にブラシやハンドテクニクによるヘッドマッサージを組み合わせることで、全身の緊張を取り除いて、より深い睡眠へと導く 2.施術後は寛ぎの時間を 3.絶景を望むプール(ご利用は平日のみ、別途料金)

1 Hotel Tokyo

バンフォード ウェルネス スパ 〔東京都〕

夏のダメージをオフしてくれる、都会のオアシス



1.トリートメントルームは5室 2.最高水準の認証を受けた天然・オーガニック成分配合の「バンフォード」のボディ・スキンケア製品を使用 3.トリートメントの予約1時間前から利用できるリラクゼーションラウンジ「ラベンダールーム」

REMEDY CAVE

レメディ ケイブ 〔東京都〕

東洋医学的アプローチで、気づきと改善へ導く



1.壁だけでなく足元にもピンクの砂のような岩場が広がる。ミネラルが作る柔らかな空気の中で、呼吸が本来のテンポを取り戻していくのを実感 2.3.漢方相談の他、薬膳茶、スキンケア商品などの販売も行っている

緑

豊かな皇居の森を望む「フォーシーズンズ ホテル 東京大手町」。その39階にある天空のスパは、地上の喧噪と隔絶した都会のサンクチュアリだ。日常の慌ただしさを一時忘れて、自分の身体とじっくり向き合おう。古くから伝わる美容の知恵と、最先端の技術を融合したトリートメントメニューが充実。中でも「ディーブ スリープ リチュアル」は、神経をリラックスさせて心身の疲労を取り除き、その名の通り深い眠りをもたらしてくれる。90分コースでは、フットバス+ボディマッサージ+温めたクレイで背中全体をラッ



Check!

●「ディーブ スリープ リチュアル」

60分¥42,800、ハイシーズン¥43,750 90分¥55,600、ハイシーズン¥56,750(税・サービス料込み) fourseasons.com/jp/otemachi/spa/massages

プして代謝を促進。最後は頭部のマッサージでコリをほぐし尽くす、デトックスなプログラムだ。仕事や買い物の帰りに通いたくなる。

— 東京都千代田区大手町1-2-1 39階 THE SPA(ザ スパ) tel: 03-6810-0660

スパトリートメント 営業時間: 月～木10:00～20:30 (最終入店19:30)、金～日・祝10:00～21:30 (最終入店20:30) プールご利用プラン 時間: 平日7:00～21:00 料金: ¥12,650(2時間まで) *ご宿泊のお客様は無料



Check!

●「ディーブ スリープ リチュアル」

60分¥42,800、ハイシーズン¥43,750 90分¥55,600、ハイシーズン¥56,750(税・サービス料込み) fourseasons.com/jp/otemachi/spa/massages

今年3月、赤坂に開業したサステナブルラグジュアリーホテル「1 Hotel Tokyo」。高層ビルの上階に位置しながら、青々と茂るグリーンに包まれた空間は、まさに都会のオアシス。38階にあるのが、英国発のラグジュアリーオーガニックブランドが手がける「バンフォード ウェルネス スパ」だ。夏季限定の「サマーグロウ リチュアル」は、肌と身体をやさしく整えながら、心身を深いリラクゼーションへと導く90分間のトリートメン



Check!

●夏季限定トリートメント「サマーグロウ リチュアル」

実施期間: 9月30日(水)まで 90分¥43,000(税・サービス料込み) 1hotels.com/ja/tokyo/do/wellness



Check!

●夏季限定トリートメント「サマーグロウ リチュアル」

実施期間: 9月30日(水)まで 90分¥43,000(税・サービス料込み) 1hotels.com/ja/tokyo/do/wellness

漢

方・鍼・スキンケアで外(肌)と内(巡り・呼吸)をともに整え、ピンクソルトの洞窟の静けさの中で自分の体と向き合う、「三調律」がコンセプトの漢方薬店「REMEDY CAVE」。ゲストの肌や身体の悩みに向き合いカウンセリングや漢方相談を行うのは、薬剤師資格を持つ独自の「コントロール調律師」だ。その一人、西崎れいなさんは、「鍼やリフレクソロジーを通して、より深く体質や不調に目を向け、改善へとアプローチし



Check!

●「CAVE鍼リフレ60」

¥18,700(税込み) 所要時間90分 会員価格でメニューが受けられる月額会員制度(¥13,750 /月、1年間契約)。 remedycave.com/



Check!

●「CAVE鍼リフレ60」

¥18,700(税込み) 所要時間90分 会員価格でメニューが受けられる月額会員制度(¥13,750 /月、1年間契約)。 remedycave.com/

Numazu-Club

沼津倶楽部 〔静岡県〕

ヘッドスパ+特別な朝食で疲れをほどく、極上ステイ



1.客室はわずか8室。目の前に広がる、バルコニー付きの部屋も 2.頭の中を静かに整える、30分のドライヘッドスパ 3.ukaのスケールプラン「ケンザン」と、豊かな自然を感じる香りの「イズ クロモジドライシャンプー」を使用 4.「夏解き -なつほどき-」限定朝食は、ジャスミンライスと十八穀米を合わせた粥に、10種類以上の薬味や具材を小皿で添えて提供。身体が内側から温まる

Check!

●夏のトリートプラン「夏解き -なつほどき-」

販売期間: 9月30日(水)まで ※3日前までに要予約 1泊2食 uka監修ドライヘッドスパ、プラン限定朝食(中華粥)含む 料金: ¥89,155～(1室2名利用時1名あたり 税・サービス料込み)

“ここだけ”の体験&メニューが話題のトリート空間で、自分を労る

雄

大な富士山と駿河湾を望む、風光明媚な沼津市・千本松原の一角。数寄屋造りの集合茶室「茶亭」と、建築家・渡辺明氏設計の宿泊棟が隣り合う、有形文化財の宿「沼津倶楽部」。こちらでは夏限定1泊2日のトリートプラン「夏解き -なつほどき-」を実施している。滞在の始まりは、トータルビューティーカンパニーuka監修のドライヘッドスパによるトリートメント。首肩、頭皮、デコルテまでをほぐし、酷使した脳をやさしく解放してくれる。ディナーでは駿河湾や伊豆近海の食材を使ったモダンチャイニーズを楽しみ、翌朝には、本プランだけの身体にやさしいヘルシーメニューを堪能。極上のお籠もりステイで、溜まった疲れと緊張を緩めよう。

静岡県沼津市千本郷林1907-8 tel: 055-954-6611 numazu-club.com



Check!

●夏のトリートプラン「夏解き -なつほどき-」

販売期間: 9月30日(水)まで ※3日前までに要予約 1泊2食 uka監修ドライヘッドスパ、プラン限定朝食(中華粥)含む 料金: ¥89,155～(1室2名利用時1名あたり 税・サービス料込み)

private heritage villa Esoto

宿場 esoto 〔山梨県〕

山梨銘醸「七賢」プロデュースの蔵の宿で、静寂に浸る



1.甲州街道のかつての宿場町に1907年(明治40年)頃建てられた文化屋敷を、まるごと一棟貸し切る贅沢な滞在 2.水源地・田んぼツアーはプレミアムプラン(¥158,000 /1泊1名)に含まれる 3.敷地内の蔵を改修した浴室からは中庭を臨む 4.土地の旬の恵みと「七賢」の銘酒の調和を楽しめる

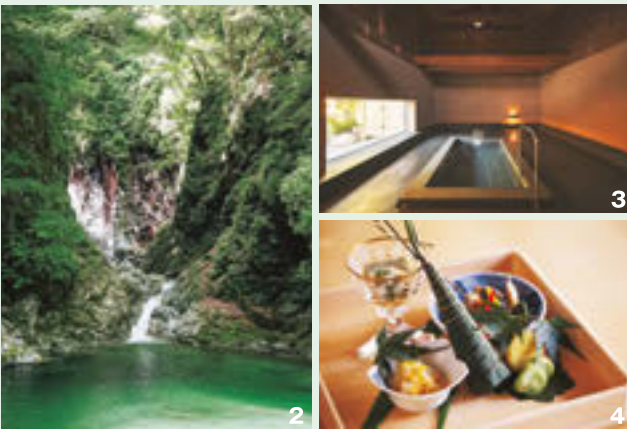
Check!

●七賢酒蔵プラン

1日1組(最大4名)限定 1泊2食 行在所・酒蔵ツアー付き(アメニティ・ドリンク含む) 料金: ¥78,000～(1名あたり 税・サービス料別)

日本酒ブランド「七賢」を醸す1750年創業の酒蔵・山梨銘醸が、今年6月に開業したのは、1H1組限定の一棟貸し宿泊施設「宿場esoto」だ。南アルプス・甲斐駒ヶ岳の懷に抱かれた白州で、旧街道に残る蔵元の文化屋敷を再生。良質な水を湛えた別棟の蔵風呂にゆったりと浸かって頭と身体をほぐしたら、土地の豊かな恵みを生かした料理と、日本酒のペアリングに心まで満たされよう。美酒を支える白州の水源地、尾白川渓谷を訪ね、酒米の田んぼの畦道を歩くという、この場所だけの特別な体験も。歴史を感じる静寂の空間と、清らかな水が生まれる大自然の中に身を浸して、自身を見つめ直す贅沢な時間。1日の終わりには、健やかな眠りをもたらしてくれるはず。

山梨県北杜市白州町台ケ原2291 tel: 055-244-3895(宿泊お問合わせ) esoto.sake-shichiken.co.jp



Check!

●七賢酒蔵プラン

1日1組(最大4名)限定 1泊2食 行在所・酒蔵ツアー付き(アメニティ・ドリンク含む) 料金: ¥78,000～(1名あたり 税・サービス料別)

TAG HEUER

「タグ・ホイヤー」と「チーム イクザワ」のコラボレーション第2弾 モータースポーツと時計の響き合う美学

「タグ・ホイヤー」と「チーム イクザワ」、そして「バンフォード ウォッチ デパートメント」が再び、コラボレーションを実現。父のレガシーを受け継ぎ、クリエイティブディレクターとして才能を発揮する生沢舞に、この特別なタイムピースへの思いを聞いた。

photos: ©TAG HEUER
interview & text: Tomoko Kawakami

「タグ・ホイヤー」が、日本のモーターレースの名門「チーム イクザワ」と著名なカスタマイザーの「バンフォード ウォッチ デパートメント」と再びタッグを組み、第2弾となる「タグ・ホイヤー カレラ クロノグラフ×チーム イクザワ」を発表。タグ・ホイヤーのCMO、ジョージ・シズは「最初の時計を作ったとき、私たちは本当に楽しい時間を過ごしました。だからこそ、次も必ず作ろうと決めていたのです」と語る。

今回、クリエイティブディレクターとして舵を取ったのは伝説的な日本人レーシングドライバー、生沢徹を父に持つ、娘の生沢舞。「第1弾では、父の歴史やチーム イクザワのヘリテージをヒントに私たちが持っている全てを注ぎ込みました。なので、第2弾はそれをを超えるものが作れないのなら挑戦できないと思っていました。今回はチームの未来をどう進めていくかを考えて、テーマを新しい世代に定め、1970～80年代のレーシングストップウォッチのグラフィックも着想源に。タイポグラフィもアイコノグラフィも、本当に衝撃的でした」と振り返る。そんな彼女のモノ作りの核となるのが「より少ないことは、より豊かなこと」という哲学。「私たちのデザインで重要なのは『Less is More』の考え方。余分なものを引き、クールだと思うところまでデザインを研ぎ澄ませる。規律のあるデザインの視点を持つことで、最終的には非常に力強いプロダクトになります」

このマインドは舞自身の装いにも通じている。どんな装いでも、私はジュエリーや時計など、ひとつの厳選したアイテムを主役にすることを意識しています。今回の新作の時計もそうですが、一見すると控えめで洗練されたデザインでも、じっくりと見れば見るほど、細部にまで配慮されたこだわりが伝わるものに惹かれます」

彼女にとって時計は、単に時間を知るための道具ではない。「そこには思い・出や伝統、そして感情が宿っています。モータースポーツに囲まれて育った幼い日、家族のレーシング歴史の傍らにはいつも『タグ・ホイヤー』のストップウォッチがあった。その光景は今でも鮮明に記憶に残っています。だからこそ、私にとって『タグ・ホイヤー』は深い感情的なつながりがあるブランドなのです」

時計は毎日身に着けるもの。優れたデザインの本質は、やがてその人の人生や物語の一部になっていく。そんな特別な存在となる新作が完成した。



ピットのツールボックスに着想を得た特製ボックスに収められた、世界150本限定の特別モデル。2本の付け替えストラップ、トラベルポーチ、チーム イクザワのチャームがセットに。白と赤の配色が映える一本。時計「タグ・ホイヤー カレラ クロノグラフ×チーム イクザワ」[SS、7列プレスレット、ホワイトバンチングレザー&レッド×ホワイトのテキスタイルストラップ付き、ケース径39mm、自社製TH20-10、シリアルナンバー入り] ¥1,518,000(タグ・ホイヤー／LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン タグ・ホイヤー)



Mai Ikuzawa 生沢舞

チーム イクザワ代表兼クリエイティブディレクター。日本人レーシングドライバー、生沢徹を父に持ち、日本と英国で育つ。自身もドライバーを経験し、妻、母、働く女性として多くの役割を担いながら、デザイン、ファッション、カルチャーを横断し、父のレガシーを現代のライフスタイルへと再解釈している。

次号予告 marie claire 9月24日刊行です shop list 掲載商品のお問い合わせ先

アルビオン tel: 0120-114-225
ヴァレンティノ インフォメーションデスク tel: 03-6384-3512
ヴァン クリーフ&アーベル デスク tel: 0120-10-1906
内原ホールディングス tel: 03-3478-3666
エスティ ローダー tel: 0570-003-770
LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン タグ・ホイヤー tel: 03-5635-7030
エルメスジャパン tel: 03-3569-3300
花王ソフィーナ tel: 0120-165-691
カネボウ化粧品 tel: 0120-518-520

グッチ クライアントサービス tel: 0120-99-2177
クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947
クロエ カスタマー・リレーションズ tel: 03-4226-3883
ゲランお客様窓口 tel: 0120-140-677
サンローラン クライアントサービス tel: 0120-952-746
SHISEIDOお客様窓口 tel: 0120-587-289
シックスナイト mail: hello@sixth-night.com
シャネル カスタマー・ケア センター tel: 0120-525-519
ジョルジオ アルマーニ ジャパン tel: 03-6274-7070
ジルサンダー・ジャパン tel: 0120-998-519

SUQUU tel: 0120-988-761
セリーヌ ジャパン tel: 03-5414-1401
ドルイス ヴァン ノッティ tel: 03-6778-7975
バレンシアガ クライアントサービス tel: 0120-992-136
ピアジェ コンタクトセンター tel: 0120-73-1874
フェラガモ・ジャパン tel: 0120-202-170
フェンディ ジャパン tel: 0120-001-829
プッシュロン クライアントサービス tel: 0120-230-441
ブラダ クライアントサービス tel: 0120-45-1913
ブルガリ・ジャパン tel: 0120-030-142

ボッテガ・ヴェネタ ジャパン tel: 0120-60-1966
ボメラート クライアントサービス tel: 0120-926-035
ボラお客様相談室 tel: 0120-117111
ミオハルタトーキョー tel: 03-6277-7866
ミュウミュウ クライアントサービス tel: 0120-45-1993
ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-00-1854
レボシ日本橋三越本店 tel: 03-6262-6677
ロベ ジャパン クライアントサービス tel: 03-6215-6116
ロジェ・ヴィヴィエ・ジャパン tel: 0120-957-940
和光 tel: 03-3562-2111



Welcome to
Our Site!



「marie claire」
LINE公式アカウントはこちら

marieclairejapon.com

marie claire open golf in Aichi 2026 参加者募集!



ゴルフコンペ

開催日時: 2026年10月30日(金)
8:00～17:00(7:00受付開始)
場所: 中京ゴルフ倶楽部 石野コース
愛知県豊田市芳友町深田510 tel: 0565-41-2100(代表)
参加費: おひとり様 ¥28,000(税込み)
キャディー付きプレーフィー、昼食(軽食)、ウェルカムドリンク、ソフトドリンク(3杯)、練習場ボール1箱、パーティ費、ゴルフ利用税を含む。その他飲食は別途(現地清算となります)。
※当落の結果は9月下旬までに事務局よりメールでお知らせし、参加費を事前決済(WEBクレジット決済)にて申し受けます。賞報発令などでゴルフ場自体が営業できない事態にならない限り、荒天決行です。入金後のキャンセルおよびご返金は承りかねます。ゴルフ場自体が運営できない場合はイベントを中止し、参加費は返金致します。
競技方法: 18ホールストロークプレー、プレー後に表彰パーティを開催、新ベリア方式により順位決定
4カ所からのショートガンスタートを予定。優勝、ベストグロウ、ニアピン賞、ドラコン賞などを予定。参加者全員にお渡しする参加賞もご用意しています。
ドレスコード: ゴルフ場のドレスコードに準ずる



After party
開催日時:
2026年11月23日
(月・祝) 13:00～16:00
(12:00受付開始)
場所:
THE CROWN
愛知高辻
愛知県名古屋市中区
高辻町6-8
tel: 052-883-6887
参加費: 無料

愛知県で今年も 「marie claire」 ゴルフコンペを開催!

「marie claire」は、10月30日(金)に愛知県で「marie claire open golf in Aichi2026」を開催します。会場は、JLPGAツアートーナメント「ブリヂストンレディスオープン」が隔年で行われる愛知県の名門コース「中京ゴルフ倶楽部 石野コース」。当日は、18ホールすべてを貸し切り。ライフスタイルを彩る「クラウン」の試乗など、ラウンド以外の楽しみも満載。また参加賞のほか、ゴルフ用品など豪華賞品も多数用意しています。当日はスペシャルゲストとして東尾理子さんが来場し、参加者の皆さんとのニアピンチャレンジやトークショーを実施予定。豊かな自然に囲まれた風光明媚な名門ゴルフ場で、スコアを気にせず楽しめる女性だけのイベントです。

また、11月23日(月・祝)にはコンペ参加者を中心とした「After party」も開催。スペシャルゲストによるトークショーのほか、シミュレーションゴルフを活用したイベントも行います。スイーツやドリンクの試

食もあります。友人とコンペでの思い出を振り返ったり、新しいゴルフ仲間を探したり、参加者皆さんで盛り上がりましょう。お一人でも友達同士でも、ご家族でも、ぜひお早めにエントリーください。

ゴルフコンペのゲスト/東尾理子さん



●募集詳細、
エントリーはこちら

申し込み締め切り: 9月3日(木) 23:59まで
※お申し込みは「ゴルフコンペ+After party」「ゴルフコンペのみ」のいずれかをお選びいただけます
上記二次元コードから応募フォームにアクセス。
必要事項をご記入の上お申し込みください。募集定員36組144名、エントリーはお早めに。
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。応募締め切り後にメールの発送をもって当選・落選の発表とさせていただきます。
※本イベントのスケジュール・内容は都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。
※本イベント中、または本イベントの参加の行程で発生した事故、けが、疾病、所持品の紛失または破損などによる一切の損害について、主催者は主催者の責めにより発生した損害を除き、責任を負い兼ねます。
※イベント中に写真撮影を行い、雑誌「marie claire」、「marie claire digital」、読売新聞本紙、Instagramなど読売新聞関連の媒体、サイト、SNSのほか、協賛各社のサイト、SNSなどに掲載する場合がございます。予めご了承ください。

主催

marie claire

特別協賛

THE CROWN
愛知高辻

協賛

Matsuzakaya
松坂屋・名古屋店

marusan
そのひそかな、
いい思い出をしよう、